

令和5年度

たつの市公営企業会計  
決算審査意見書

(水道事業会計)

(下水道事業会計)

(国民宿舎事業会計)

たつの市監査委員





た 監 第 3 3 号  
令和6年8月21日

たつの市長 山 本 実 様

たつの市監査委員 岸 田 信 行  
たつの市監査委員 船 引 宗 俊

令和5年度たつの市公営企業会計決算審査意見書の提出について

地方公営企業法第30条第2項の規定に基づき、審査に付された令和5年度たつの市公営企業会計（水道事業会計・下水道事業会計・国民宿舎事業会計）の決算及び決算附属書類を審査した結果、次のとおりその意見を提出します。



## 目 次

|                              |    |
|------------------------------|----|
| 第1 審査の対象                     | 7  |
| 第2 審査の期間                     | 7  |
| 第3 審査の方法                     | 7  |
| 第4 審査の結果                     | 7  |
| 第5 審査の概要                     | 7  |
| <br>                         |    |
| 水道事業会計                       | 11 |
| 資料                           |    |
| 別表1 比較損益計算書 (No.1) 及び (No.2) | 21 |
| 別表2 費用の性質別一覧                 | 23 |
| 別表3 比較貸借対照表 (No.1) 及び (No.2) | 24 |
| 別表4 財務諸表分析表 (No.1) 及び (No.2) | 26 |
| <br>                         |    |
| 下水道事業会計                      | 33 |
| 資料                           |    |
| 別表1 比較損益計算書 (No.1) 及び (No.2) | 45 |
| 別表2 費用の性質別一覧                 | 47 |
| 別表3 比較貸借対照表 (No.1) 及び (No.2) | 48 |
| 別表4 財務諸表分析表 (No.1) 及び (No.2) | 50 |
| <br>                         |    |
| 国民宿舎事業会計                     | 57 |
| 資料                           |    |
| 別表1 業務概要                     | 67 |
| 別表2 比較損益計算書                  | 68 |
| 別表3 費用の性質別一覧                 | 69 |
| 別表4 比較貸借対照表 (No.1) 及び (No.2) | 70 |
| 別表5 財務諸表分析表 (No.1) 及び (No.2) | 72 |



## 令和5年度たつの市公営企業会計決算審査意見書

### 第1 審査の対象

|       |                |
|-------|----------------|
| 令和5年度 | たつの市水道事業会計決算   |
| 令和5年度 | たつの市下水道事業会計決算  |
| 令和5年度 | たつの市国民宿舎事業会計決算 |

### 第2 審査の期間

令和6年6月14日から令和6年8月2日までの間

### 第3 審査の方法

令和5年度の各公営企業会計の決算審査に当たっては、市長から送付を受けた各公営企業会計決算書及び決算附属書類が関係法令に準拠して作成され、事業の経営成績並びに財務状況等に関する会計事実を明白かつ適正に表示し、その計数が正確であるか、関係帳簿と照合したほか、関係職員から説明聴取等を行いながら審査した。

### 第4 審査の結果

決算諸表の記載様式及び記載事項は、関係法令に従って作成されており、その計数は、経営状況及び財政状況を適正に表示しているものと認めた。

### 第5 審査の概要

各事業の経営状況及び財政状況等審査の概要は、別記のとおりである。

#### 注 記

- ① 文中及び各表中の金額等は、表示単位未満を四捨五入したものであって、合計額と内訳の計等が一致しない場合や「0.0%」といった表示がある。
- ② 各表中の「-」は、該当数値が無いもの又は増減率等の無意味なものであり、「△」は、負数又は減数を表したものである。
- ③ ポイントとは、百分率（%）間の単純差引数値である。



# 水 道 事 業 会 計



## たつの市水道事業会計

### 1 業務実績について

令和5年度水道事業会計の業務実績は、第1表のとおりである。

第1表 業務実績表

| 項 目                    | 令和5年度                    | 令和4年度                    | 比較増減                    |
|------------------------|--------------------------|--------------------------|-------------------------|
| 給水区域内人口 a              | 51,552 人                 | 52,035 人                 | △ 483 人                 |
| 現在給水人口 b               | 51,501 人                 | 51,982 人                 | △ 481 人                 |
| 普及率 $b/a \times 100$   | 99.9 %                   | 99.9 %                   | 0.0 %                   |
| 給水件数                   | 23,915 件                 | 23,895 件                 | 20 件                    |
| 送水量 c                  | 6,177,109 m <sup>3</sup> | 6,255,240 m <sup>3</sup> | △ 78,131 m <sup>3</sup> |
| 有収水量 d                 | 5,589,603 m <sup>3</sup> | 5,655,707 m <sup>3</sup> | △ 66,104 m <sup>3</sup> |
| 無収水量                   | 30,839 m <sup>3</sup>    | 3,531 m <sup>3</sup>     | 27,308 m <sup>3</sup>   |
| 有収率 $d/c \times 100$   | 90.5 %                   | 90.4 %                   | 0.1 %                   |
| 無効水量                   | 556,667 m <sup>3</sup>   | 596,002 m <sup>3</sup>   | △ 39,335 m <sup>3</sup> |
| 配水管延長                  | 421,592 m                | 419,640 m                | 1,952 m                 |
| 一日配水能力 e               | 27,930 m <sup>3</sup>    | 27,930 m <sup>3</sup>    | 0 m <sup>3</sup>        |
| 一日最大配水量 f              | 19,806 m <sup>3</sup>    | 20,522 m <sup>3</sup>    | △ 716 m <sup>3</sup>    |
| 一日平均配水量 g              | 16,877 m <sup>3</sup>    | 17,138 m <sup>3</sup>    | △ 261 m <sup>3</sup>    |
| 負荷率 $g/f \times 100$   | 85.2 %                   | 83.5 %                   | 1.7 %                   |
| 施設利用率 $g/e \times 100$ | 60.4 %                   | 61.4 %                   | △ 1.0 %                 |
| 最大稼働率 $f/e \times 100$ | 70.9 %                   | 73.5 %                   | △ 2.6 %                 |

(数値は、年度末現在の値)

水道事業の給水区域内における給水人口は 51,501人で、前年度に比べ 481人減少しており、給水区域内人口 51,552人に対する普及率は 99.9%で、前年度と同率である。

給水件数は 23,915件で、前年度に比べ 20件増加している。

有収水量は 5,589,603m<sup>3</sup>で、送水量 6,177,109m<sup>3</sup>に対する有収率は 90.5%となり、前年度に比べ 0.1ポイント増加している。

無効水量は 556,667m<sup>3</sup>で、このうち、調定減額水量は 14,944m<sup>3</sup>、漏水量は 541,723m<sup>3</sup>である。

## 2 予算及び決算について

### (1) 収益的収入及び支出について

収益的収支に係る予算の執行状況は、第2表のとおりである。

第2表 予算決算対照表（収益的収支）

(収入)

(単位：千円、%)

| 科 目    | 予 算 額     | 決 算 額     | 予 算 額 に 比 べ<br>決 算 額 の 増 減 | 収 入 率 | 決 算 構<br>成 比 率 |
|--------|-----------|-----------|----------------------------|-------|----------------|
| 水道事業収益 | 1,100,316 | 1,069,913 | △ 30,403                   | 97.2  | 100.0          |
| 営業収益   | 796,191   | 771,470   | △ 24,721                   | 96.9  | 72.1           |
| 営業外収益  | 304,122   | 298,443   | △ 5,679                    | 98.1  | 27.9           |
| 特別利益   | 3         | 0         | △ 3                        | 0.0   | 0.0            |

(支出)

(単位：千円、%)

| 科 目    | 予 算 額     | 決 算 額   | 不 用 額   | 執 行 率 | 決 算 構<br>成 比 率 |
|--------|-----------|---------|---------|-------|----------------|
| 水道事業費用 | 1,105,260 | 943,877 | 161,383 | 85.4  | 100.0          |
| 営業費用   | 1,030,877 | 900,577 | 130,300 | 87.4  | 95.4           |
| 営業外費用  | 64,381    | 43,300  | 21,081  | 67.3  | 4.6            |
| 特別損失   | 2         | 0       | 2       | 0.0   | 0.0            |
| 予備費    | 10,000    | 0       | 10,000  | 0.0   | 0.0            |

(本決算額は、消費税等込の数字である。)

収益的収入は、予算額 1,100,316千円に対して決算額は 1,069,913千円で、決算額の予算額に対する比率は 97.2%となっている。これは主に、予算額に対して営業収益が 24,721千円、営業外収益が 5,679千円減収となったことによるものである。

収益的支出は、予算額 1,105,260千円に対して決算額は 943,877千円で、執行率は 85.4%となり、161,383千円の不用額が生じている。

(2) 資本的収入及び支出について

資本的収支に係る予算の執行状況は、第3表のとおりである。

第3表 予算決算対照表（資本的収支）

(収入)

(単位：千円、%)

| 科 目      | 予 算 額   | 地方公営企業法第26条の規定による支出額に係る財源充当額 | 合 計     | 決 算 額   | 予算額に比べ決算額の増減 | 収入率   | 決算構成比率 |
|----------|---------|------------------------------|---------|---------|--------------|-------|--------|
| 資本的収入    | 112,328 | 44,000                       | 156,328 | 129,512 | △ 26,816     | 82.8  | 100.0  |
| 企業債      | 96,400  | 44,000                       | 140,400 | 114,900 | △ 25,500     | 81.8  | 88.7   |
| 工事負担金    | 5,927   | 0                            | 5,927   | 5,928   | 1            | 100.0 | 4.6    |
| 他会計負担金   | 10,000  | 0                            | 10,000  | 8,684   | △ 1,316      | 86.8  | 6.7    |
| 固定資産売却代金 | 1       | 0                            | 1       | 0       | △ 1          | 0.0   | 0.0    |
| 国庫補助金    | 0       | 0                            | 0       | 0       | 0            | —     | —      |

(支出)

(単位：千円、%)

| 科 目    | 予 算 額   | 地方公営企業法第26条の規定による繰越額 | 合 計     | 決 算 額   | 地方公営企業法第26条の規定による繰越額 | 不 用 額  | 執行率   | 決算構成比率 |
|--------|---------|----------------------|---------|---------|----------------------|--------|-------|--------|
| 資本的支出  | 748,177 | 171,730              | 919,907 | 518,957 | 304,350              | 96,600 | 56.4  | 100.0  |
| 建設改良費  | 602,164 | 171,730              | 773,894 | 382,944 | 304,350              | 86,600 | 49.5  | 73.8   |
| 企業債償還金 | 136,013 | 0                    | 136,013 | 136,013 | 0                    | 0      | 100.0 | 26.2   |
| 予備費    | 10,000  | 0                    | 10,000  | 0       | 0                    | 10,000 | 0.0   | 0.0    |

(本決算額は、消費税等込の数字である。)

資本的収入は、予算額 156,328千円に対して決算額は 129,512千円で、決算額の予算額に対する比率は 82.8%となっている。

資本的支出は、予算額 919,907千円に対して決算額は 518,957千円で、執行率が 56.4%となっている。翌年度へ 304,350千円繰越し、不用額は 96,600千円である。

なお、資本的収入額が資本的支出額に不足する額 389,445千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 33,395千円、減災積立金 136,013千円、建設改良積立金 190,300千円及び過年度分損益勘定留保資金 29,737千円で補てんされている。

### 3 経営成績について（資料別表1・2参照）

当年度の水道事業会計の損益状況は、総収益が 998,592 千円に対し、総費用が 907,516 千円となり、91,076 千円の純利益を計上している。

#### (1) 経営収支の推移について

経営収支の推移を見ると、第4表のとおりである。

第4表 経営収支の推移

(単位：千円、%)

| 年 度   | 総収益<br>(A) | 対前年<br>度 比 | 総費用<br>(B) | 対前年<br>度 比 | 損 益<br>(A)-(B) | 対前年<br>度 比 | 総収支<br>比 率 |
|-------|------------|------------|------------|------------|----------------|------------|------------|
| 令和5年度 | 998,592    | 96.9       | 907,516    | 94.2       | 91,076         | 137.1      | 110.0      |
| 令和4年度 | 1,030,030  | 97.3       | 963,610    | 105.8      | 66,420         | 45.1       | 106.9      |
| 令和3年度 | 1,058,241  | 95.6       | 910,998    | 93.1       | 147,243        | 115.3      | 116.2      |

(総収支比率は、総収益÷総費用×100)

総収支比率の推移を見ると、前年度の 106.9%に対し、当年度は 110.0%となっており、前年度に比べ 3.1ポイントの増加となっている。

#### (2) 収益について

当年度の総収益は 998,592 千円で、内訳は、営業収益が 702,192 千円（構成比 70.3%）、営業外収益が 296,400 千円（構成比 29.7%）である。前年度に比べ、営業収益が 5,275 千円の減収、営業外収益が 26,163 千円の減収で、全体で 31,438 千円の減収となっている。

#### (3) 費用について

当年度の総費用は 907,516 千円で、内訳は、営業費用が 878,310 千円（構成比 96.8%）、営業外費用が 29,206 千円（構成比 3.2%）である。前年度に比べ、営業費用が 53,565 千円の減少、営業外費用が 2,529 千円の減少で、全体で 56,094 千円の減少となっている。

ア 人件費（児童手当含む。）

収益的収入及び支出の人件費は 110,625千円で、職員 16名分の経費である。  
総費用に占める割合は 12.2%で、前年度に比べ 3,694千円増加している。

人件費の営業収支に対する比率を見ると、第5表のとおりである。

第5表 人件費の営業収支に対する比率

(単位：千円、%)

| 年 度   | 人件費     | 対前年<br>度 比 | 営業収益    | 対前年<br>度 比 | 営業費用    | 対前年<br>度 比 | 対 営 業<br>収益比率 | 対 営 業<br>費用比率 |
|-------|---------|------------|---------|------------|---------|------------|---------------|---------------|
| 令和5年度 | 110,625 | 103.5      | 702,192 | 99.3       | 878,310 | 94.3       | 15.8          | 12.6          |
| 令和4年度 | 106,931 | 99.7       | 707,467 | 99.4       | 931,875 | 106.2      | 15.1          | 11.5          |
| 令和3年度 | 107,299 | 91.7       | 711,933 | 97.7       | 877,579 | 93.0       | 15.1          | 12.2          |

(対営業収益比率=人件費÷営業収益×100)

(対営業費用比率=人件費÷営業費用×100)

前年度に比べ人件費は 3.5ポイント増加し、営業収益比率は 0.7ポイント増加し、営業費用比率は 1.1ポイント増加している。

イ 動力費及び薬品費

動力費は 80,745千円で、前年度に比べ 30,963千円減少しており、総費用に占める割合は、8.9%となっている。

薬品費は 2,820千円で、前年度に比べ 420千円増加しており、総費用に占める割合は、0.3%となっている。

ウ その他物件費

その他物件費は 152,596千円で、前年度に比べ 1,702千円減少しており、総費用に占める割合は、16.8%となっている。

※その他物件費=材料売却原価+修繕費+材料費+路面復旧費+その他

エ 減価償却費

減価償却費は 526,466千円で、前年度に比べ 29,534千円減少しており、総費用に占める割合は、58.0%となっている。

オ 資産減耗費

資産減耗費は 8,090千円で、前年度に比べ 3,613千円増加しており、総費用に占める割合は、0.9%となっている。

※資産減耗費=固定資産除却費+棚卸資産減耗費

カ 支払利息及び企業債取扱諸費

支払利息及び企業債取扱諸費は 26,174千円で、前年度に比べ 1,621千円減少しており、総費用に占める割合は、2.9%となっている。

(4) 給水原価について

$$\text{給水原価} = \frac{\text{経常費用} - (\text{受託工事費} + \text{材料及び不用品売却原価} + \text{附帯事業費}) - \text{長期前受金戻入}}{\text{年間有収水量}}$$

1 m<sup>3</sup>当たりの給水原価は 116.33円となっている。

(5) 供給単価について

$$\text{供給単価} = \frac{\text{水道料金} + \text{分水料金}}{\text{年間有収水量}}$$

1 m<sup>3</sup>当たりの供給単価は 120.77円となり、1 m<sup>3</sup>当たりの販売利益は 4.44円となっている。

4 財政状況について（資料別表3参照）

(1) 資産について

資産総額は 11,856,466千円で、前年度に比べ 261,856千円の減少となり、構成比率は、固定資産が 86.1%、流動資産が 13.9%となっている。

ア 固定資産

固定資産は 10,212,156千円で、前年度に比べ 215,666千円の減少となっている。

主な増減内容は、有形固定資産の建物が 42,891千円、構築物が 85,404千円、機械及び装置が 79,600千円、投資その他の資産の投資有価証券が 30,919千円減少している。

イ 流動資産

流動資産は 1,644,310千円で、前年度に比べ 46,190千円の減少となっている。

主な増減内容は、現金預金が 15,687千円、未収金が 4,954千円、有価証券が 29,311千円減少している。

(2) 負債について

負債総額は 5,878,930千円で、前年度に比べ 292,702千円の減少となっている。

これは、固定負債が 19,657千円、流動負債が 30,476千円、繰延収益が 242,569千円減少したためである。

(3) 資本について

資本合計は 5,977,535千円で、前年度に比べ 30,846千円増加となっている。

ア 資本金

資本金は 1,120,793千円で、前年度と同額である。

イ 剰余金

剰余金は 4,856,743千円で、前年度に比べ 30,846千円増加となっている。

これは、利益剰余金が 91,076千円増加し、その他有価証券評価差額が 60,230千円減少したためである。

(4) キャッシュ・フローの状況について

当年度のキャッシュ・フローの状況は、第6表のとおりである。

第6表 キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| 区 分                | 令和5年度     |           | 令和4年度     |
|--------------------|-----------|-----------|-----------|
|                    | 決 算 額     | 増 減 額     | 決 算 額     |
| 業務活動によるキャッシュ・フロー A | 364,616   | △ 5,003   | 369,619   |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー B | △ 359,190 | △ 139,946 | △ 219,244 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー C | △ 21,113  | 6,003     | △ 27,116  |
| 資金増加(減少)額 D=A+B+C  | △ 15,687  | △ 138,946 | 123,259   |
| 資金期首残高 E           | 1,155,990 | —         | 1,032,731 |
| 資金期末残高 E+D         | 1,140,303 | —         | 1,155,990 |

業務活動によるキャッシュ・フローは 364,616千円のプラスで、前年度に比べ 5,003千円減少している。また、投資活動によるキャッシュ・フローは 359,190千円のマイナスで、前年度に比べ 139,946千円減少しており、財務活動によるキャッシュ・フローは 21,113千円のマイナスで、前年度に比べ 6,003千円増加している。

この結果、当年度の資金(現金・預金)期末残高は、期首残高に比べ 15,687千円減少し、1,140,303千円となっている。

## む す び

令和5年度水道事業会計の決算審査の内容は、以上のとおりである。

業務の状況については、前年度に比べ、給水人口が481人減少し、有収水量は66,104<sup>m</sup>の減少、有収率は0.1ポイントの上昇、送水量は78,131<sup>m</sup>の減少となった。

また、給水原価は116.33円/<sup>m</sup>、供給単価は120.77円/<sup>m</sup>で、1<sup>m</sup>当たりの販売利益は4.44円となっている。

経営状況については、水道事業収益が998,592千円で、前年度に比べ31,438千円の減少となった。

また、水道事業費用は、907,516千円となり、前年度に比べ56,094千円の減少となった。

その結果、経常収支では91,076千円の純利益が生じ、前年度に比べ24,656千円の増収となり、当年度未処分利益剰余金は、3,194,634千円となっている。

また、資金の期末残高は、前年度と比べ15,687千円減少し、1,140,303千円となった。

企業債については、当年度末の未償還残高は前年度末に比べ21,112千円減少し、1,657,979千円となっている。

建設改良の状況については、配水施設改良において、配水管網の整備及び耐用年数を経過した老朽管の更新及び耐震化工事を重点的に施工し、配水施設の整備拡充を図った。

経常収支については、上記のように黒字となっているが、老朽化した施設の更新や耐震化への対応などを考えると経営は厳しく、今後の水道事業運営全般に大きな課題を抱えている。

人口減少や節水意識の向上、節水機器の普及に伴う料金収入の減少等により厳しい環境になることが見込まれ、また、近年の人材不足等による労務単価の上昇や、円安による原材料価格の高騰などが、今後も事業運営に大きな影響を与える恐れがある。経営状況の悪化を防ぐためには、随時事業効果を検証することが必要不可欠となる。

今後の事業運営に当たっては「たつの市水道事業ビジョン」及び「たつの市水道事業経営戦略」に基づき水道施設の更新及び耐震化を図るとともに、さらなる経営の健全化及び効率化に努めることで、将来にわたり安全な水道水の持続的な供給を行えるよう、引き続き安定した経営を持続されたい。

# 水道事業会計資料



## 資料別表 1

## 比較損益計算書 (No. 1)

(収益の部)

(単位：円、%)

| 科 目       | 令和 5 年度     |       |              |            | 令和 4 年度       |       |
|-----------|-------------|-------|--------------|------------|---------------|-------|
|           | 決 算 額       | 構成比   | 前年度増減        | 対前年<br>度 比 | 決 算 額         | 構成比   |
| 営業収益      | 702,192,329 | 70.3  | △ 5,275,101  | 99.3       | 707,467,430   | 68.7  |
| 給水収益      | 675,081,329 | 67.6  | △ 5,959,001  | 99.1       | 681,040,330   | 66.1  |
| 水道料金      | 675,081,329 | 67.6  | △ 5,959,001  | 99.1       | 681,040,330   | 66.1  |
| 受託工事収益    | 145,100     | 0.0   | △ 177,000    | 45.0       | 322,100       | 0.0   |
| その他営業収益   | 26,965,900  | 2.7   | 860,900      | 103.3      | 26,105,000    | 2.6   |
| 手数料       | 2,132,900   | 0.2   | △ 289,100    | 88.1       | 2,422,000     | 0.3   |
| 他会計負担金    | 7,285,000   | 0.7   | 1,150,000    | 118.7      | 6,135,000     | 0.6   |
| 下水道徴収負担金  | 17,548,000  | 1.8   | 0            | 100.0      | 17,548,000    | 1.7   |
| 営業外収益     | 296,399,994 | 29.7  | △ 26,162,858 | 91.9       | 322,562,852   | 31.3  |
| 受取利息及び配当金 | 20,382,601  | 2.0   | △ 737,864    | 96.5       | 21,120,465    | 2.1   |
| 分担金       | 13,440,000  | 1.4   | △ 1,190,000  | 91.9       | 14,630,000    | 1.3   |
| 他会計補助金    | 260,000     | 0.0   | △ 100,000    | 72.2       | 360,000       | 0.0   |
| 長期前受金戻入   | 257,180,812 | 25.8  | △ 22,575,897 | 91.9       | 279,756,709   | 27.2  |
| 雑収益       | 5,136,581   | 0.5   | △ 1,559,097  | 76.7       | 6,695,678     | 0.7   |
| 特別利益      | 0           | 0.0   | 0            | —          | 0             | 0.0   |
| 固定資産売却益   | 0           | 0.0   | 0            | —          | 0             | 0.0   |
| 過年度損益修正益  | 0           | 0.0   | 0            | —          | 0             | 0.0   |
| その他特別利益   | 0           | 0.0   | 0            | —          | 0             | 0.0   |
| 合 計       | 998,592,323 | 100.0 | △ 31,437,959 | 96.9       | 1,030,030,282 | 100.0 |

## 資料別表 1

## 比較損益計算書 (No. 2)

(費用の部)

(単位：円、%)

| 科 目                   | 令和5年度         |       |              |            | 令和4年度         |       |
|-----------------------|---------------|-------|--------------|------------|---------------|-------|
|                       | 決 算 額         | 構成比   | 前年度増減        | 対前年<br>度 比 | 決 算 額         | 構成比   |
| 営業費用                  | 878,310,315   | 96.8  | △ 53,565,061 | 94.3       | 931,875,376   | 96.7  |
| 原水及び浄水費               | 169,187,731   | 18.6  | △ 38,624,903 | 81.4       | 207,812,634   | 21.6  |
| 配水及び給水費               | 72,375,136    | 8.0   | 7,400,454    | 111.4      | 64,974,682    | 6.7   |
| 受託工事費                 | 94,231        | 0.0   | △ 237,777    | 28.4       | 332,008       | 0.0   |
| 業務費                   | 54,537,228    | 6.0   | 946,463      | 101.8      | 53,590,765    | 5.6   |
| 総係費                   | 47,559,970    | 5.3   | 2,871,488    | 106.4      | 44,688,482    | 4.6   |
| 減価償却費                 | 526,466,188   | 58.0  | △ 29,534,179 | 94.7       | 556,000,367   | 57.7  |
| 資産減耗費                 | 8,089,831     | 0.9   | 3,613,393    | 180.7      | 4,476,438     | 0.5   |
| 営業外費用                 | 29,205,927    | 3.2   | △ 2,528,503  | 92.0       | 31,734,430    | 3.3   |
| 支払利息及び企業債取扱諸費         | 26,173,559    | 2.9   | △ 1,621,257  | 94.2       | 27,794,816    | 2.9   |
| 雑支出                   | 3,032,368     | 0.3   | △ 907,246    | 77.0       | 3,939,614     | 0.4   |
| 特別損失                  | 0             | 0.0   | 0            | —          | 0             | 0.0   |
| 固定資産売却損               | 0             | 0.0   | 0            | —          | 0             | 0.0   |
| 過年度損益修正損              | 0             | 0.0   | 0            | —          | 0             | 0.0   |
| その他特別損失               | 0             | 0.0   | 0            | —          | 0             | 0.0   |
| 費用合計                  | 907,516,242   | 100.0 | △ 56,093,564 | 94.2       | 963,609,806   | 100.0 |
| 当年度純利益                | 91,076,081    | —     | 24,655,605   | —          | 66,420,476    | —     |
| 前年度繰越利益剰余金            | 2,777,245,779 | —     | △ 69,592,098 | —          | 2,846,837,877 | —     |
| その他未処分利益剰余<br>金 変 動 額 | 326,312,574   | —     | 326,312,574  | —          | 0             | —     |
| 当年度未処分利益剰余金           | 3,194,634,434 | —     | 281,376,081  | —          | 2,913,258,353 | —     |

## 資料別表 2

## 費用の性質別一覧

(単位：円、%)

| 科 目           | 令和 5 年度     |       |              |            | 令和 4 年度     |       |
|---------------|-------------|-------|--------------|------------|-------------|-------|
|               | 決 算 額       | 構成比   | 前年度増減        | 対前年<br>度 比 | 決 算 額       | 構成比   |
| 直接人件費         | 81,267,922  | 9.0   | 1,311,937    | 101.6      | 79,955,985  | 8.3   |
| 間接人件費         | 29,357,509  | 3.2   | 2,382,071    | 108.8      | 26,975,438  | 2.8   |
| 動力費           | 80,744,591  | 8.9   | △ 30,963,398 | 72.3       | 111,707,989 | 11.6  |
| 薬品費           | 2,820,325   | 0.3   | 420,075      | 117.5      | 2,400,250   | 0.2   |
| その他物件費        | 152,596,317 | 16.8  | △ 1,702,206  | 98.9       | 154,298,523 | 16.0  |
| 減価償却費         | 526,466,188 | 58.0  | △ 29,534,179 | 94.7       | 556,000,367 | 57.7  |
| 資産減耗費         | 8,089,831   | 0.9   | 3,613,393    | 180.7      | 4,476,438   | 0.5   |
| 支払利息及び企業債取扱諸費 | 26,173,559  | 2.9   | △ 1,621,257  | 94.2       | 27,794,816  | 2.9   |
| 合 計           | 907,516,242 | 100.0 | △ 56,093,564 | 94.2       | 963,609,806 | 100.0 |

## 資料別表 3

## 比較貸借対照表 (No. 1)

(資産の部)

(単位：円、%)

| 科 目      | 令和 5 年度        |       |               |            | 令和 4 年度        |       |
|----------|----------------|-------|---------------|------------|----------------|-------|
|          | 決 算 額          | 構成比   | 前年度増減         | 対前年<br>度 比 | 決 算 額          | 構成比   |
| 固定資産     | 10,212,155,924 | 86.1  | △ 215,665,703 | 97.9       | 10,427,821,627 | 86.1  |
| 有形固定資産   | 8,769,566,019  | 73.9  | △ 253,579,849 | 97.2       | 9,023,145,868  | 74.5  |
| 土地       | 225,371,386    | 1.9   | 0             | 100.0      | 225,371,386    | 1.9   |
| 建物       | 783,671,295    | 6.6   | △ 42,891,266  | 94.8       | 826,562,561    | 6.8   |
| 構築物      | 6,809,679,187  | 57.4  | △ 85,404,135  | 98.8       | 6,895,083,322  | 56.9  |
| 機械及び装置   | 890,314,220    | 7.5   | △ 79,599,875  | 91.8       | 969,914,095    | 8.0   |
| 車両運搬具    | 4,706,475      | 0.0   | △ 1,430,048   | 76.7       | 6,136,523      | 0.1   |
| 工具器具及び備品 | 13,567,902     | 0.1   | △ 7,423,506   | 64.6       | 20,991,408     | 0.2   |
| 建設仮勘定    | 42,255,554     | 0.4   | △ 36,831,019  | 53.4       | 79,086,573     | 0.6   |
| 無形固定資産   | 114,761,805    | 1.0   | 68,832,746    | 249.9      | 45,929,059     | 0.4   |
| 施設利用権    | 44,641,805     | 0.4   | △ 1,287,254   | 97.2       | 45,929,059     | 0.4   |
| ソフトウェア   | 70,120,000     | 0.6   | 70,120,000    | 皆増         | 0              | 0.0   |
| 投資その他の資産 | 1,327,828,100  | 11.2  | △ 30,918,600  | 97.7       | 1,358,746,700  | 11.2  |
| 投資有価証券   | 1,327,828,100  | 11.2  | △ 30,918,600  | 97.7       | 1,358,746,700  | 11.2  |
| 流動資産     | 1,644,309,726  | 13.9  | △ 46,190,306  | 97.3       | 1,690,500,032  | 13.9  |
| 現金預金     | 1,140,303,111  | 9.6   | △ 15,686,667  | 98.6       | 1,155,989,778  | 9.5   |
| 未収金      | 93,847,897     | 0.8   | △ 4,050,624   | 95.9       | 97,898,521     | 0.8   |
| 未収金      | 113,912,015    | 1.0   | △ 4,954,250   | 95.8       | 118,866,265    | 1.0   |
| 貸倒引当金    | △ 20,064,118   | △ 0.2 | 903,626       | 95.7       | △ 20,967,744   | △ 0.2 |
| 有価証券     | 393,767,800    | 3.3   | △ 29,311,000  | 93.1       | 423,078,800    | 3.5   |
| 貯蔵品      | 16,390,918     | 0.2   | 2,857,985     | 121.1      | 13,532,933     | 0.1   |
| 前払金      | 0              | 0.0   | 0             | —          | 0              | 0.0   |
| 資 産 合 計  | 11,856,465,650 | 100.0 | △ 261,856,009 | 97.8       | 12,118,321,659 | 100.0 |

## 資料別表 3

## 比較貸借対照表 (No. 2)

(負債・資本の部)

(単位：円、%)

| 科 目         | 令和5年度           |        |               |       | 令和4年度           |        |
|-------------|-----------------|--------|---------------|-------|-----------------|--------|
|             | 決 算 額           | 構成比    | 前年度増減         | 対前年度比 | 決 算 額           | 構成比    |
| 固定負債        | 1,798,315,838   | 15.2   | △ 19,657,618  | 98.9  | 1,817,973,456   | 15.0   |
| 企業債         | 1,527,377,958   | 12.9   | △ 15,700,818  | 99.0  | 1,543,078,776   | 12.7   |
| 引当金         | 270,937,880     | 2.3    | △ 3,956,800   | 98.6  | 274,894,680     | 2.3    |
| 退職給付引当金     | 159,474,958     | 1.4    | 0             | 100.0 | 159,474,958     | 1.3    |
| 修繕引当金       | 111,462,922     | 0.9    | △ 3,956,800   | 96.6  | 115,419,722     | 1.0    |
| 流動負債        | 299,902,179     | 2.5    | △ 30,476,060  | 90.8  | 330,378,239     | 2.7    |
| 企業債         | 130,600,818     | 1.1    | △ 5,411,756   | 96.0  | 136,012,574     | 1.1    |
| 未払金         | 87,518,649      | 0.7    | △ 22,444,329  | 79.6  | 109,962,978     | 0.9    |
| 引当金         | 7,834,709       | 0.1    | △ 1,552,391   | 83.5  | 9,387,100       | 0.1    |
| 預り金         | 73,948,003      | 0.6    | △ 1,067,584   | 98.6  | 75,015,587      | 0.6    |
| 繰延収益        | 3,780,712,137   | 31.9   | △ 242,568,812 | 94.0  | 4,023,280,949   | 33.2   |
| 長期前受金       | 10,152,672,504  | 85.6   | 11,997,800    | 100.1 | 10,140,674,704  | 83.7   |
| 収益化累計額      | △ 6,371,960,367 | △ 53.7 | △ 254,566,612 | 104.2 | △ 6,117,393,755 | △ 50.5 |
| 負債合計        | 5,878,930,154   | 49.6   | △ 292,702,490 | 95.3  | 6,171,632,644   | 50.9   |
| 資本金         | 1,120,792,942   | 9.5    | 0             | 100.0 | 1,120,792,942   | 9.3    |
| 自己資本金       | 1,120,792,942   | 9.5    | 0             | 100.0 | 1,120,792,942   | 9.3    |
| 剰余金         | 4,856,742,554   | 40.9   | 30,846,481    | 100.6 | 4,825,896,073   | 39.8   |
| 資本剰余金       | 700,650,093     | 5.9    | 0             | 100.0 | 700,650,093     | 5.8    |
| 受贈財産評価額     | 25,749,800      | 0.2    | 0             | 100.0 | 25,749,800      | 0.2    |
| 工事負担金       | 637,311,854     | 5.4    | 0             | 100.0 | 637,311,854     | 5.3    |
| 補助金         | 1,605,239       | 0.0    | 0             | 100.0 | 1,605,239       | 0.0    |
| 出資金         | 13,307,405      | 0.1    | 0             | 100.0 | 13,307,405      | 0.1    |
| その他資本剰余金    | 22,675,795      | 0.2    | 0             | 100.0 | 22,675,795      | 0.2    |
| 利益剰余金       | 4,162,685,483   | 35.0   | 91,076,081    | 102.2 | 4,071,609,402   | 33.6   |
| 減債積立金       | 339,883,664     | 2.9    | 0             | 100.0 | 339,883,664     | 2.8    |
| 利益積立金       | 4,501,762       | 0.0    | 0             | 100.0 | 4,501,762       | 0.0    |
| 建設改良積立金     | 623,665,623     | 5.3    | △ 190,300,000 | 76.6  | 813,965,623     | 6.7    |
| 当年度未処分利益剰余金 | 3,194,634,434   | 26.9   | 281,376,081   | 109.7 | 2,913,258,353   | 24.1   |
| その他有価証券評価差額 | △ 6,593,022     | △ 0.1  | △ 60,229,600  | △ 12  | 53,636,578      | 0.4    |
| 資本合計        | 5,977,535,496   | 50.4   | 30,846,481    | 100.5 | 5,946,689,015   | 49.1   |
| 負債・資本合計     | 11,856,465,650  | 100.0  | △ 261,856,009 | 97.8  | 12,118,321,659  | 100.0  |

## 資料別表 4

## 財務諸表分析表 (No. 1)

| 分析項目 |             | R5         | R4         | R3         | 参考値<br>(全国平均) | 算式  |
|------|-------------|------------|------------|------------|---------------|---|
| 構成比率 | 固定資産構成比率    | %<br>86.1  | %<br>86.1  | %<br>86.8  | %<br>88.8     | $\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}} \times 100$<br>総資産 = 固定資産 + 流動資産  |
|      | 固定負債構成比率    | %<br>15.2  | %<br>15.0  | %<br>15.0  | %<br>21.4     | $\frac{\text{固定負債}}{\text{負債・資本合計}} \times 100$   |
|      | 自己資本構成比率    | %<br>82.3  | %<br>82.3  | %<br>82.8  | %<br>74.3     | $\frac{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{繰延収益}}{\text{負債・資本合計}} \times 100$                        |
| 財務比率 | 固定資産対長期資本比率 | %<br>88.4  | %<br>88.5  | %<br>88.9  | %<br>92.8     | $\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{固定負債} + \text{繰延収益}} \times 100$             |
|      | 流動比率        | %<br>548.3 | %<br>511.7 | %<br>583.9 | %<br>259.6    | $\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$  |
| 回転率  | 固定資産回転率     | 回<br>0.1   | 回<br>0.1   | 回<br>0.1   | 回<br>0.1      | $\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首固定資産} + \text{期末固定資産}) \div 2}$                                    |
|      | 減価償却率       | %<br>5.8   | %<br>6.0   | %<br>5.8   | %<br>4.1      | $\frac{\text{当年度減価償却額}}{\text{有形固定資産} + \text{無形固定資産} - \text{土地} - \text{建設仮勘定} + \text{当年度減価償却額}} \times 100$ |
|      | 流動資産回転率     | 回<br>0.4   | 回<br>0.4   | 回<br>0.4   | 回<br>0.6      | $\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首流動資産} + \text{期末流動資産}) \div 2}$                                    |
|      | 未収金回転率      | 回<br>6.0   | 回<br>5.3   | 回<br>4.7   | 回<br>7.1      | $\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首未収金} + \text{期末未収金}) \div 2}$                                      |

※「参考値」欄は、総務省において公表している「地方公営企業年鑑」から引用し、令和4年度の数値を記載している。

| 説 明  |
|--|
| <p>総資産に対する固定資産の構成比率であり、比率が高ければ資本の固定化の傾向にある。低い方が、機動的な経営が可能である。</p>  |
| <p>資産の調達源である負債・資本の内、他人資本の割合を示すものであり、比率が低いほど良い。</p>   |
| <p>資本総額とこれを構成する自己資本の関係を示すもので、経営の健全化のためには、比率を高める必要がある。</p>  |
| <p>固定資産の調達が自己資本と固定負債の範囲内で行われるべきであるとの立場から、少なくとも100%以内が望ましく、100%を超えた場合は明らかに固定資産に対する過大投資が行われたものと言わざるを得ない。比率が低い方が良い。</p> |
| <p>1年以内に現金化できる資産と支払わなければならない負債（短期債務）とを比較するもので、流動性を確保するためには、流動資産が流動負債の2倍以上あることが要求されるので、安全比率は200%以上である。</p>            |
| <p>営業収益と、設備投資された資本との関係を示すものであり、比率が高い方が固定資産が活用されていることを示す。</p>   |
| <p>減価償却費を固定資産の帳簿価格と比較することによって、固定資産に投下された資本の回収状況をみるためのものである。</p>  |
| <p>現金預金、未収金、貯蔵品等回転率を包括するものであり、これらの回転率が高くなれば、それに応じて高くなるものである。</p>   |
| <p>企業の取引量である営業収益と未収金との関係で、比率が高いほど未収金が未回収のまま残留する期間が短いことを示す。</p>   |

財務諸表分析表 (No. 2)

| 分析項目        |                  | R5         | R4         | R3         | 参考値<br>(全国平均) | 算式  |
|-------------|------------------|------------|------------|------------|---------------|---|
| 収<br>益<br>率 | 総資本利益率           | %<br>0.8   | %<br>0.5   | %<br>1.2   | %<br>—        | $\frac{\text{当年度純利益}}{(\text{期首総資本} + \text{期末総資本}) \div 2} \times 100$                                       |
|             | 総収支比率            | %<br>110.0 | %<br>106.9 | %<br>116.2 | %<br>108.8    | $\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$  |
|             | 営業収支比率           | %<br>79.9  | %<br>75.9  | %<br>81.1  | %<br>97.4     | $\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{営業費用} - \text{受託工事費}} \times 100$                                   |
| そ<br>の<br>他 | 利子負担率            | %<br>1.6   | %<br>1.7   | %<br>1.8   | %<br>1.4      | $\frac{\text{支払利息} + \text{企業債取扱諸費}}{\text{企業債} \cdot \text{長期借入金} + \text{一時借入金} + \text{リース債務}} \times 100$ |
|             | 企業債元金償還額対減価償却額比率 | %<br>25.8  | %<br>24.1  | %<br>24.1  | %<br>68.4     | $\frac{\text{建設改良のための企業債元金償還額}}{\text{当年度減価償却額}} \times 100$  |

※「参考値」欄は、総務省において公表している「地方公営企業年鑑」から引用し、令和4年度の数値を記載している。

説 明

企業に投下された資本の総額と、それによってもたらされた利益とを比較したものであり、高い方が望ましい。

総収益と総費用を対比したものであり、収益と費用の総体的な関連を示すものである。

業務活動によってもたらされた営業収益とそれに要した営業費用を対比して業務活動の能率を示すものであり、これによって経営活動の成否が判断されるものである。

損益計算書が示す借入資本利子を貸借対照表に示された負債と比較することにより、利子率を計算したものである。

企業債償還額とその主要償還財源である減価償却費を比較したものである。



# 下水道事業会計



## たつの市下水道事業会計

### 1 業務実績について

令和5年度下水道事業会計の業務実績は、第1表のとおりである。

第1表 業務実績表

| 項 目                    | 令和5年度                     | 令和4年度                     | 比較増減                     |
|------------------------|---------------------------|---------------------------|--------------------------|
| 行政区域内人口                | 72,843 人                  | 73,649 人                  | △ 806 人                  |
| 処理区域内人口 a              | 71,914 人                  | 72,681 人                  | △ 767 人                  |
| 処理区域内世帯数 b             | 30,779 世帯                 | 30,698 世帯                 | 81 世帯                    |
| 水洗化人口 c                | 68,610 人                  | 69,187 人                  | △ 577 人                  |
| 水洗化世帯数 d               | 29,110 世帯                 | 28,976 世帯                 | 134 世帯                   |
| 水洗化率 $c/a \times 100$  | 95.4 %                    | 95.2 %                    | 0.2 %                    |
| 世帯普及率 $d/b \times 100$ | 94.6 %                    | 94.4 %                    | 0.2 %                    |
| 年間総処理水量 e              | 11,426,764 m <sup>3</sup> | 11,151,959 m <sup>3</sup> | 274,805 m <sup>3</sup>   |
| 年間有収水量 f               | 8,615,776 m <sup>3</sup>  | 8,766,515 m <sup>3</sup>  | △ 150,739 m <sup>3</sup> |
| 有収率 $f/e \times 100$   | 75.4 %                    | 78.6 %                    | △ 3.2 %                  |
| 汚水管延長                  | 695 km                    | 694 km                    | 1 km                     |
| 雨水管延長                  | 41 km                     | 41 km                     | 0 km                     |

(数値は、年度末現在の値)

下水道事業の処理区域内における水洗化人口は 68,610人で、前年度に比べ 577人減少しており、処理区域内人口 71,914人に対する水洗化率は 95.4%で、前年度に比べ 0.2ポイント増加している。

年間有収水量は 8,615,776m<sup>3</sup>で、年間総処理水量 11,426,764m<sup>3</sup>に対する有収率は 75.4%となり、前年度に比べ 3.2ポイント減少している。

## 2 予算及び決算について

### (1) 収益的収入及び支出について

収益的収支に係る予算の執行状況は、第2表のとおりである。

第2表 予算決算対照表（収益的収支）

(収入) (単位：千円、%)

| 科 目      | 予 算 額     | 決 算 額     | 予 算 に 比 べ<br>決 算 額 の 増 減 | 収 入 率 | 決 算 構<br>成 比 率 |
|----------|-----------|-----------|--------------------------|-------|----------------|
| 下水道事業収益  | 3,568,633 | 3,371,105 | △ 197,528                | 94.5  | 72.2           |
| 営業収益     | 1,365,848 | 1,359,081 | △ 6,767                  | 99.5  | 29.1           |
| 営業外収益    | 2,202,783 | 2,012,024 | △ 190,759                | 91.3  | 43.1           |
| 特別利益     | 2         | 0         | △ 2                      | 0.0   | 0.0            |
| 前処理場事業収益 | 1,713,321 | 1,295,479 | △ 417,842                | 75.6  | 27.8           |
| 営業収益     | 689,378   | 439,268   | △ 250,110                | 63.7  | 9.4            |
| 営業外収益    | 1,023,942 | 856,211   | △ 167,731                | 83.6  | 18.4           |
| 特別利益     | 1         | 0         | △ 1                      | 0.0   | 0.0            |
| 収益合計     | 5,281,954 | 4,666,584 | △ 615,370                | 88.3  | 100.0          |

(支出) (単位：千円、%)

| 科 目      | 予 算 額     | 決 算 額     | 不 用 額   | 執 行 率 | 決 算 構<br>成 比 率 |
|----------|-----------|-----------|---------|-------|----------------|
| 下水道事業費用  | 3,328,971 | 3,184,112 | 144,859 | 95.6  | 71.2           |
| 営業費用     | 2,938,945 | 2,850,655 | 88,290  | 97.0  | 63.8           |
| 営業外費用    | 380,025   | 333,457   | 46,568  | 87.7  | 7.4            |
| 特別損失     | 1         | 0         | 1       | 0.0   | 0.0            |
| 予備費      | 10,000    | 0         | 10,000  | 0.0   | 0.0            |
| 前処理場事業費用 | 1,713,321 | 1,285,341 | 427,980 | 75.0  | 28.8           |
| 営業費用     | 1,662,664 | 1,242,460 | 420,204 | 74.7  | 27.8           |
| 営業外費用    | 48,656    | 42,881    | 5,775   | 88.1  | 1.0            |
| 特別損失     | 1         | 0         | 1       | 0.0   | 0.0            |
| 予備費      | 2,000     | 0         | 2,000   | 0.0   | 0.0            |
| 費用合計     | 5,042,292 | 4,469,453 | 572,839 | 88.6  | 100.0          |

(本決算額は、消費税等込の数字である。)

収益的収入は、下水道事業では、予算額 3,568,633千円に対して決算額は 3,371,105千円で、決算額の予算額に対する比率は 94.5%となっている。前処理場事業では、予算額 1,713,321千円に対して決算額は 1,295,479千円で、決算額の予算額に対する比率は 75.6%となっている。

会計全体では、予算額 5,281,954千円に対して決算額は 4,666,584千円で、決算額の予算額に対する比率は 88.3%となっている。

収益的支出は、下水道事業では、予算額 3,328,971千円に対して決算額は 3,184,112千円で、執行率は 95.6%となり、144,859千円の不用額が生じている。前処理場事業では、予算額 1,713,321千円に対して決算額は 1,285,341千円で、執行率は 75.0%となり、427,980千円の不用額が生じている。

会計全体では、予算額 5,042,292千円に対して決算額は 4,469,453千円で、執行率は 88.6%となっており、572,839千円の不用額が生じている。

(2) 資本的収入及び支出について

資本的収支に係る予算の執行状況は、第3表のとおりである。

第3表 予算決算対照表（資本的収支）

(収入)

(単位：千円、%)

| 科 目         | 予 算 額     | 地方公営企業法第26条の規定による支出額に係る財源充当額 | 合 計       | 決 算 額     | 予算額に比べ決算額の増減 | 収入率   | 決算構成比率 |
|-------------|-----------|------------------------------|-----------|-----------|--------------|-------|--------|
| 下水道事業資本的収入  | 1,724,456 | 115,950                      | 1,840,406 | 1,423,245 | △ 417,161    | 77.3  | 73.6   |
| 企業債         | 462,500   | 88,700                       | 551,200   | 184,520   | △ 366,680    | 33.5  | 9.5    |
| 受益者負担金及び分担金 | 22,560    | 0                            | 22,560    | 21,392    | △ 1,168      | 94.8  | 1.1    |
| 出資金         | 1,006,245 | 0                            | 1,006,245 | 1,110,266 | 104,021      | 110.3 | 57.5   |
| 国庫補助金等      | 233,150   | 27,250                       | 260,400   | 107,067   | △ 153,333    | 41.1  | 5.5    |
| その他資本的収入    | 1         | 0                            | 1         | 0         | △ 1          | 0.0   | 0.0    |
| 前処理場事業資本的収入 | 763,322   | 103,358                      | 866,680   | 509,398   | △ 357,282    | 58.8  | 26.4   |
| 企業債         | 347,200   | 71,300                       | 418,500   | 144,580   | △ 273,920    | 34.5  | 7.5    |
| 出資金         | 213,122   | 0                            | 213,122   | 267,141   | 54,019       | 125.3 | 13.8   |
| 国庫補助金等      | 203,000   | 32,058                       | 235,058   | 97,677    | △ 137,381    | 41.6  | 5.1    |
| 資本的収入合計     | 2,487,778 | 219,308                      | 2,707,086 | 1,932,643 | △ 774,443    | 71.4  | 100.0  |

(支出)

(単位：千円、%)

| 科 目         | 予 算 額     | 地方公営企業法第26条の規定による繰越額 | 合 計       | 決 算 額     | 地方公営企業法第26条の規定による繰越額 | 不用額     | 執行率  | 決算構成比率 |
|-------------|-----------|----------------------|-----------|-----------|----------------------|---------|------|--------|
| 下水道事業資本的支出  | 3,135,877 | 132,824              | 3,268,701 | 2,802,061 | 333,512              | 133,128 | 85.7 | 80.2   |
| 建設改良費       | 724,829   | 132,824              | 857,653   | 392,425   | 333,512              | 131,716 | 45.8 | 11.2   |
| 固定資産購入費     | 5,206     | 0                    | 5,206     | 3,800     | 0                    | 1,406   | 73.0 | 0.1    |
| 企業債償還金      | 2,405,842 | 0                    | 2,405,842 | 2,405,836 | 0                    | 6       | 99.9 | 68.9   |
| 前処理場事業資本的支出 | 1,001,927 | 108,550              | 1,110,477 | 691,155   | 291,500              | 127,822 | 62.2 | 19.8   |
| 建設改良費       | 607,230   | 108,550              | 715,780   | 296,522   | 291,500              | 127,758 | 41.4 | 8.5    |
| 固定資産購入費     | 2,040     | 0                    | 2,040     | 1,979     | 0                    | 61      | 97.0 | 0.1    |
| 企業債償還金      | 392,657   | 0                    | 392,657   | 392,654   | 0                    | 3       | 99.9 | 11.2   |
| 資本的支出合計     | 4,137,804 | 241,374              | 4,379,178 | 3,493,216 | 625,012              | 260,950 | 79.8 | 100.0  |

(本決算額は、消費税等込の数字である。)

資本的収入は、下水道事業では、予算額 1,840,406千円に対して決算額は 1,423,245千円で、決算額の予算額に対する比率は 77.3%となっている。前処理場事業では、予算額 866,680千円に対して決算額は 509,398千円で、決算額の予算額に対する比率は 58.8%となっている。

会計全体では、予算額 2,707,086千円に対して決算額は 1,932,643千円で、決算額の予算額に対する比率は 71.4%となっている。

資本的支出は、下水道事業では、予算額 3,268,701千円に対して決算額は 2,802,061千円で、執行率が 85.7%となっている。翌年度へ 333,512千円繰越し、不用額は 133,128千円である。前処理場事業では、予算額 1,110,477千円に対して決算額は 691,155千円で、執行率が 62.2%となっている。翌年度へ 291,500千円繰越し、不用額は 127,822千円である。

会計全体では、予算額 4,379,178千円に対して決算額は 3,493,216千円で、執行率が 79.8%となっている。翌年度へ 625,012千円繰越し、不用額は 260,950千円である。

なお、資本的収入額（前年度支出の財源に充当する令和4年度同意済企業債借入額 100,600千円を除く。）が資本的支出額に不足する額 1,661,173千円は、減債積立金 100,852千円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 60,815千円、過年度分損益勘定留保資金 53,653千円及び当年度分損益勘定留保資金 1,284,453千円で補填されており、なお不足する額 161,400千円(未払相当分)については、令和4年度及び令和5年度同意済企業債の未発行分 161,400千円をもって翌年度に措置するものとされている。

(3) 一般会計からの繰入金について

一般会計からの繰入金の状況は、第4表のとおりである。

第4表 一般会計からの繰入金の状況

(単位：千円、%)

| 区 分   | 令和5年度     |          |           | 令和4年度     |
|-------|-----------|----------|-----------|-----------|
|       | 決 算 額     | 前年度増減    | 対前年<br>度比 | 決 算 額     |
| 収益的収入 | 2,171,693 | △ 45,397 | 98.0      | 2,217,090 |
| 資本的収入 | 1,377,407 | 94,497   | 107.4     | 1,282,910 |
| 合 計   | 3,549,100 | 49,100   | 101.4     | 3,500,000 |

一般会計からの繰入金は 3,549,100千円となり、その内訳は、収益的収入が 2,171,693千円、資本的収入が 1,377,407千円であり、前年度に比べ 49,100千円増加している。

3 経営成績について（資料別表1・2参照）

当年度の下水道事業会計の損益状況は、総収益が 4,529,765千円に対し、総費用が 4,352,226千円となり、177,539千円の純利益を計上している。

(1) 経営収支の推移について

経営収支の推移を見ると、第5表のとおりである。

第5表 経営収支の推移

(単位：千円、%)

| 年 度   | 総収益<br>(A) | 対前年<br>度 比 | 総費用<br>(B) | 対前年<br>度 比 | 損 益<br>(A)-(B) | 対前年<br>度 比 | 総収支<br>比 率 |
|-------|------------|------------|------------|------------|----------------|------------|------------|
| 令和5年度 | 4,529,765  | 97.8       | 4,352,226  | 98.4       | 177,539        | 84.9       | 104.1      |
| 令和4年度 | 4,630,805  | 102.1      | 4,421,769  | 100.8      | 209,036        | 141.6      | 104.7      |
| 令和3年度 | 4,534,078  | 93.2       | 4,386,504  | 94.5       | 147,574        | 65.6       | 103.4      |

(総収支比率は、総収益÷総費用×100)

総収支比率の推移を見ると、前年度の 104.7%に対し、当年度は 104.1%となっており、前年度に比べ 0.6ポイントの減少となっている。

(2) 収益について

当年度の総収益は 4,529,765千円で、内訳は、下水道事業収益が 3,267,253千円（構成比 72.1%）、前処理場事業収益が 1,262,512千円（構成比 27.9%）である。

下水道事業収益の内訳は、営業収益が 1,255,228千円、営業外収益が 2,012,025千円で、前年度に比べ、営業収益が 14,395千円の減収、営業外収益が 52,674千円の減収となっている。

前処理場事業収益の内訳は、営業収益が 406,355千円、営業外収益が 856,157千円で、前年度に比べ、営業収益が 5,348千円の減収、営業外収益が 28,623千円の減収となっている。

会計全体では、101,040千円の減収となっている。

(3) 費用について

当年度の総費用は 4,352,226千円で、内訳は、下水道事業費用が 3,098,589千円（構成比 71.2%）、前処理場事業費用が 1,253,637千円（構成比 28.8%）である。

下水道事業費用の内訳は、営業費用が 2,761,987千円、営業外費用が 336,602千円で、前年度に比べ、営業費用が 56,178千円の増加、営業外費用が 63,587千円の減少となっている。

前処理場事業費用の内訳は、営業費用が 1,181,136千円、営業外費用が 72,501千円で、前年度に比べ、営業費用が 44,335千円の減少、営業外費用が 17,799千円の減少となっている。

会計全体では、69,543千円の減少となっている。

ア 人件費（児童手当含む。）

収益的収入及び支出の人件費は 116,115千円で、職員 16名分の経費である。

内訳は、下水道事業が 85,914千円で、前処理場事業が 30,201千円であり、人件費の総費用に占める割合は 2.7%である。

人件費の営業収支に対する比率を見ると、第6表のとおりである。

第6表 人件費の営業収支に対する比率

(単位：千円、%)

| 年 度   | 人件費     | 対前年度比 | 営業収益      | 対前年度比 | 営業費用      | 対前年度比 | 対営業収益比率 | 対営業費用比率 |
|-------|---------|-------|-----------|-------|-----------|-------|---------|---------|
| 令和5年度 | 116,115 | 97.2  | 1,661,583 | 98.8  | 3,943,123 | 100.3 | 7.0     | 2.9     |
| 令和4年度 | 119,493 | 93.7  | 1,681,326 | 101.1 | 3,931,280 | 102.7 | 7.1     | 3.0     |
| 令和3年度 | 127,533 | 95.7  | 1,662,239 | 99.2  | 3,827,254 | 97.4  | 7.7     | 3.3     |

(対営業収益比率=人件費÷営業収益×100) (対営業費用比率=人件費÷営業費用×100)

前年度に比べ人件費は 2.8ポイント減少し、営業収益比率は 0.1ポイント減少し、営業費用比率は 0.1ポイント減少している。

イ 動力費及び薬品費

動力費は 61,513千円で、前年度に比べ 19,878千円減少しており、総費用に占める割合は、1.4%となっている。

薬品費は 11,234千円で、前年度に比べ 3,532千円減少しており、総費用に占める割合は、0.3%となっている。

ウ その他物件費

その他物件費は 1,479,489千円で、前年度に比べ 96,598千円増加しており、総費用に占める割合は、33.9%となっている。

※その他物件費＝修繕費＋材料費＋路面復旧費＋その他

エ 減価償却費

減価償却費は 2,317,349千円で、前年度に比べ 13,727千円減少しており、総費用に占める割合は、53.3%となっている。

オ 資産減耗費

資産減耗費は 197千円で、前年度に比べ 65,584千円減少しており、総費用に占める割合は、0.0%となっている。

※資産減耗費＝固定資産除却費＋棚卸資産減耗費

カ 支払利息及び企業債取扱諸費

支払利息及び企業債取扱諸費は 366,329千円で、前年度に比べ 60,042千円減少しており、総費用に占める割合は、8.4%となっている。

(4) 使用料単価について

$$\text{使用料単価} = \frac{\text{下水道使用料}}{\text{年間有収水量}}$$

1 m<sup>3</sup>当たりの使用料単価は 156.35円となっている。

(5) 汚水処理原価について

$$\text{汚水処理原価} = \frac{\text{汚水処理費（汚水処理に係る維持管理費＋資本費）}}{\text{年間有収水量}}$$

1 m<sup>3</sup>当たりの汚水処理原価は 291.64円となり、135.29円の差損となっている。

(6) 経費回収率について

$$\text{経費回収率} = \frac{\text{下水道使用料}}{\text{汚水処理費（汚水処理に係る維持管理費＋資本費）}} \times 100$$

経費回収率は、53.61%となっている。

#### 4 財政状況について（資料別表3参照）

##### (1) 資産について

資産総額は 60,635,293千円で、前年度に比べ 1,268,173千円の減少となり、構成比率は、固定資産が 98.4%、流動資産が 1.6%となっている。

##### ア 固定資産

固定資産は 59,658,779千円で、前年度に比べ 1,646,023千円の減少となっている。

主な増減内容は、有形固定資産の構築物が 1,305,250千円、機械及び装置が 198,141千円、無形固定資産の施設利用権が 247,819千円減少している。

##### イ 流動資産

流動資産は 976,514千円で、前年度に比べ 377,851千円の増加となっている。

主な増減内容は、現金預金が 390,293千円増加し、未収金が 5,243千円減少し、前払金が 8,000千円（皆減）減少している。

##### (2) 負債について

負債総額は 42,139,845千円で、前年度に比べ 2,823,614千円の減少となっている。

これは、固定負債が 2,306,204千円、繰延収益が 660,725千円減少し、流動負債が 143,315千円増加したためである。

##### (3) 資本について

資本総額は 18,495,448千円で、前年度に比べ 1,555,441千円増加となっている。

##### ア 資本金

資本金は 16,817,867千円で、前年度に比べ 1,377,407千円増加となっている。

これは、一般会計からの出資金が 1,377,407千円となったためである。

##### イ 剰余金

剰余金は 1,677,581千円で、前年度に比べ 178,034千円増加となっている。

これは、資本剰余金が 496千円、利益剰余金が 177,538千円増加したためである。

- (4) キャッシュ・フローの状況について  
 当年度のキャッシュ・フローの状況は、第7表のとおりである。

第7表 キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| 区 分                | 令和5年度       |          | 令和4年度       |
|--------------------|-------------|----------|-------------|
|                    | 決 算 額       | 増 減 額    | 決 算 額       |
| 業務活動によるキャッシュ・フロー A | 1,910,609   | 89,948   | 1,820,661   |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー B | △ 428,333   | △ 56,052 | △ 372,281   |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー C | △ 1,091,983 | 229,126  | △ 1,321,109 |
| 資金増加（減少）額 D=A+B+C  | 390,293     | 263,022  | 127,271     |
| 資金期首残高 E           | 301,861     | —        | 174,590     |
| 資金期末残高 E+D         | 692,154     | —        | 301,861     |

業務活動によるキャッシュ・フローは 1,910,609千円のプラスで、前年度に比べ 89,948千円増加している。また、投資活動によるキャッシュ・フローは 428,333千円のマイナスで、前年度に比べ 56,052千円減少しており、財務活動によるキャッシュ・フローは 1,091,983千円のマイナスで、前年度に比べ 229,126千円増加している。

この結果、当年度の資金（現金・預金）期末残高は、期首残高に比べ 390,293千円増加し、692,154千円となっている。

## む す び

令和5年度下水道事業会計の決算審査の内容は、以上のとおりである。

本市の下水道事業は、全国的にも稀な、皮革排水に係る前処理場事業を有している。

業務の状況については、前年度に比べ、処理区域内人口が767人、水洗化人口が577人それぞれ減少したが、水洗化率は0.2ポイント増加し95.4%となった。

年間総処理水量は、前年度に比べ274,805m<sup>3</sup>増加し11,426,764m<sup>3</sup>となり、年間有収水量は150,739m<sup>3</sup>減少し8,615,776m<sup>3</sup>となったため、有収率は3.2ポイント減少し75.4%となった。

使用料単価は156.35円/m<sup>3</sup>、汚水処理原価は291.64円/m<sup>3</sup>で、経費回収率は53.61%となっている。

経営状況については、総収益が4,529,765千円で、総費用が4,352,226千円であったため、当年度純利益は177,539千円となった。

経常収支については、上記のように黒字となっているが、一般会計からの基準外繰入金が必要とする状況にある。

また、資金の期末残高は、前年度に比べ390,293千円増加し、692,154千円となった。

企業債については、当年度末の未償還残高は前年度末に比べ2,469,390千円減少し、19,602,926千円となっている。

建設改良の状況については、管路等の改修工事や各施設の機械設備等の更新を計画的に実施した。

下水道事業が地方公営企業法の財務事務に関する規定を適用し、公営企業会計へ移行して令和5年度末で4年が経過した。

下水道使用料については、令和7年4月からの使用料改定を予定しており、令和元年10月に使用料改定を行って以来の改定となる。使用料改定については市民の理解が不可欠と考えられることから、下水道事業の現状を広く周知し、丁寧に説明して進められたい。

また、近年のエネルギー価格の高騰や物価高の影響などは、今後の事業全般に大きな影響を与える恐れがある。今後の経営環境の変化に適切に対応し、「たつの市下水道事業経営戦略」等に基づき、下水道基幹施設の維持保全に取り組みながら下水道事業が安定して運営されるよう、さらなる経営の健全化及び効率化に努められたい。



# 下水道事業会計資料



## 資料別表 1

## 比較損益計算書 (No. 1)

(収益の部)

(単位：円、%)

| 科 目       | 令和 5 年度       |       |               |            | 令和 4 年度       |       |
|-----------|---------------|-------|---------------|------------|---------------|-------|
|           | 決 算 額         | 構成比   | 前年度増減         | 対前年<br>度 比 | 決 算 額         | 構成比   |
| 下水道事業収益   | 3,267,253,230 | 72.1  | △ 67,068,687  | 98.0       | 3,334,321,917 | 72.0  |
| 営業収益      | 1,255,228,644 | 27.7  | △ 14,394,728  | 98.9       | 1,269,623,372 | 27.4  |
| 下水道使用料    | 1,038,022,064 | 22.9  | △ 6,718,001   | 99.4       | 1,044,740,065 | 22.6  |
| 雨水処理負担金   | 215,644,303   | 4.8   | △ 8,507,552   | 96.2       | 224,151,855   | 4.8   |
| 受託事業収益    | 500,000       | 0.0   | 500,000       | 皆増         | 0             | 0.0   |
| その他営業収益   | 1,062,277     | 0.0   | 330,825       | 145.2      | 731,452       | 0.0   |
| 営業外収益     | 2,012,024,586 | 44.4  | △ 52,673,959  | 97.4       | 2,064,698,545 | 44.6  |
| 受取利息及び配当金 | 0             | 0.0   | △ 35,671      | 皆減         | 35,671        | 0.0   |
| 他会計負担金    | 1,048,841,052 | 23.2  | △ 319,264,542 | 76.7       | 1,368,105,594 | 29.5  |
| 他会計補助金    | 341,834,867   | 7.5   | 301,265,425   | 842.6      | 40,569,442    | 0.9   |
| 長期前受金戻入   | 613,288,206   | 13.5  | △ 32,833,353  | 94.9       | 646,121,559   | 14.0  |
| 雑収益       | 8,060,461     | 0.2   | △ 1,805,818   | 81.7       | 9,866,279     | 0.2   |
| 特別利益      | 0             | 0.0   | 0             | —          | 0             | 0.0   |
| 前処理場事業収益  | 1,262,511,469 | 27.9  | △ 33,971,370  | 97.4       | 1,296,482,839 | 28.0  |
| 営業収益      | 406,354,813   | 9.0   | △ 5,348,339   | 98.7       | 411,703,152   | 8.9   |
| 下水道使用料    | 328,980,250   | 7.3   | △ 18,666,000  | 94.6       | 347,646,250   | 7.5   |
| 補助金       | 77,224,000    | 1.7   | 14,172,000    | 122.5      | 63,052,000    | 1.4   |
| その他営業収益   | 150,563       | 0.0   | △ 854,339     | 15.0       | 1,004,902     | 0.0   |
| 営業外収益     | 856,156,656   | 18.9  | △ 28,623,031  | 96.8       | 884,779,687   | 19.1  |
| 他会計負担金    | 4,573,012     | 0.1   | 584,012       | 114.6      | 3,989,000     | 0.1   |
| 他会計補助金    | 560,800,137   | 12.4  | △ 19,473,863  | 96.6       | 580,274,000   | 12.5  |
| 長期前受金戻入   | 290,130,460   | 6.4   | △ 7,968,644   | 97.3       | 298,099,104   | 6.4   |
| 雑収益       | 653,047       | 0.0   | △ 1,764,536   | 27.0       | 2,417,583     | 0.1   |
| 特別利益      | 0             | 0.0   | 0             | —          | 0             | 0.0   |
| 収 益 合 計   | 4,529,764,699 | 100.0 | △ 101,040,057 | 97.8       | 4,630,804,756 | 100.0 |

## 資料別表 1

## 比較損益計算書 (No. 2)

(費用の部)

(単位：円、%)

| 科 目            | 令和 5 年度       |       |              |            | 令和 4 年度       |       |
|----------------|---------------|-------|--------------|------------|---------------|-------|
|                | 決 算 額         | 構成比   | 前年度増減        | 対前年<br>度 比 | 決 算 額         | 構成比   |
| 下水道事業費用        | 3,098,588,753 | 71.2  | △ 7,409,043  | 99.8       | 3,105,997,796 | 70.2  |
| 営業費用           | 2,761,986,539 | 63.5  | 56,177,810   | 102.1      | 2,705,808,729 | 61.2  |
| 管渠費            | 100,837,129   | 2.3   | △ 8,812      | 100.0      | 100,845,941   | 2.3   |
| ポンプ場費          | 7,634,814     | 0.2   | △ 2,957,346  | 72.1       | 10,592,160    | 0.2   |
| 処理場費           | 98,152,261    | 2.3   | △ 6,088,898  | 94.2       | 104,241,159   | 2.3   |
| 流域下水道維持管理費     | 641,069,995   | 14.7  | 144,796,149  | 129.2      | 496,273,846   | 11.2  |
| 雨水処理費          | 13,919,708    | 0.3   | △ 7,131,984  | 66.1       | 21,051,692    | 0.5   |
| 業務費            | 48,689,438    | 1.1   | 489,088      | 101.0      | 48,200,350    | 1.1   |
| 総係費            | 67,666,215    | 1.6   | △ 6,026,427  | 91.8       | 73,692,642    | 1.7   |
| 減価償却費          | 1,783,319,974 | 41.0  | △ 10,132,866 | 99.4       | 1,793,452,840 | 40.6  |
| 資産消耗費          | 197,005       | 0.0   | △ 57,261,094 | 0.3        | 57,458,099    | 1.3   |
| その他営業費用        | 500,000       | 0.0   | 500,000      | 皆増         | 0             | 0.0   |
| 営業外費用          | 336,602,214   | 7.7   | △ 63,586,853 | 84.1       | 400,189,067   | 9.0   |
| 支払利息及び企業債取扱諸費  | 323,447,810   | 7.4   | △ 54,427,637 | 85.6       | 377,875,447   | 8.5   |
| 雑支出            | 13,154,404    | 0.3   | △ 9,159,216  | 59.0       | 22,313,620    | 0.5   |
| 特別損失           | 0             | 0.0   | 0            | —          | 0             | 0.0   |
| 前処理場事業費用       | 1,253,637,261 | 28.8  | △ 62,133,560 | 95.3       | 1,315,770,821 | 29.8  |
| 営業費用           | 1,181,136,049 | 27.1  | △ 44,334,723 | 96.4       | 1,225,470,772 | 27.8  |
| 管渠費            | 13,373,910    | 0.3   | 5,191,162    | 163.4      | 8,182,748     | 0.2   |
| ポンプ場費          | 4,103,764     | 0.1   | △ 181,004    | 95.8       | 4,284,768     | 0.1   |
| 処理場費           | 178,523,693   | 4.1   | △ 4,472,977  | 97.6       | 182,996,670   | 4.1   |
| 流域下水道維持管理費     | 270,064,325   | 6.2   | 16,788,925   | 106.6      | 253,275,400   | 5.7   |
| 流域下水汚泥処理維持管理費  | 135,385,729   | 3.1   | △ 44,112,057 | 75.4       | 179,497,786   | 4.1   |
| 業務費            | 26,264,981    | 0.6   | △ 2,127,230  | 92.5       | 28,392,211    | 0.7   |
| 総係費            | 19,390,909    | 0.4   | △ 3,504,827  | 84.7       | 22,895,736    | 0.5   |
| 減価償却費          | 534,028,738   | 12.3  | △ 3,594,043  | 99.3       | 537,622,781   | 12.2  |
| 資産減耗費          | 0             | 0.0   | △ 8,322,672  | 皆減         | 8,322,672     | 0.2   |
| 営業外費用          | 72,501,212    | 1.7   | △ 17,798,837 | 80.3       | 90,300,049    | 2.0   |
| 支払利息及び企業債取扱諸費  | 42,880,861    | 1.0   | △ 5,614,475  | 88.4       | 48,495,336    | 1.1   |
| 雑支出            | 29,620,351    | 0.7   | △ 12,184,362 | 70.9       | 41,804,713    | 0.9   |
| 特別損失           | 0             | 0.0   | 0            | —          | 0             | 0.0   |
| 費用合計           | 4,352,226,014 | 100.0 | △ 69,542,603 | 98.4       | 4,421,768,617 | 100.0 |
| 当年度純利益         | 177,538,685   | —     | △ 31,497,454 | —          | 209,036,139   | —     |
| 前年度繰越利益剰余金     | 159,490,065   | —     | 115,182,000  | —          | 44,308,065    | —     |
| その他未処分利益剰余金変動額 | 115,250,028   | —     | 68,028       | —          | 115,182,000   | —     |
| 当年度未処分利益剰余金    | 452,278,778   | —     | 83,752,574   | —          | 368,526,204   | —     |

## 資料別表 2

## 費用の性質別一覧

(単位：円、%)

| 科 目           | 令和 5 年度       |       |              |            | 令和 4 年度       |       |
|---------------|---------------|-------|--------------|------------|---------------|-------|
|               | 決 算 額         | 構成比   | 前年度増減        | 対前年<br>度 比 | 決 算 額         | 構成比   |
| 下水道事業         | 3,098,588,753 | 71.2  | △ 7,409,043  | 99.8       | 3,105,997,796 | 70.2  |
| 直接人件費         | 64,732,836    | 1.5   | △ 296,428    | 99.5       | 65,029,264    | 1.5   |
| 間接人件費         | 21,181,698    | 0.5   | △ 3,911,615  | 84.4       | 25,093,313    | 0.6   |
| 動力費           | 42,983,866    | 1.0   | △ 14,624,587 | 74.6       | 57,608,453    | 1.3   |
| 薬品費           | 2,486,530     | 0.1   | 692,700      | 138.6      | 1,793,830     | 0.0   |
| その他物件費        | 860,239,034   | 19.7  | 132,552,484  | 118.2      | 727,686,550   | 16.4  |
| 減価償却費         | 1,783,319,974 | 41.0  | △ 10,132,866 | 99.4       | 1,793,452,840 | 40.6  |
| 資産減耗費         | 197,005       | 0.0   | △ 57,261,094 | 0.3        | 57,458,099    | 1.3   |
| 支払利息及び企業債取扱諸費 | 323,447,810   | 7.4   | △ 54,427,637 | 85.6       | 377,875,447   | 8.5   |
| 前処理場事業        | 1,253,637,261 | 28.8  | △ 62,133,560 | 95.3       | 1,315,770,821 | 29.8  |
| 直接人件費         | 22,382,734    | 0.5   | 290,630      | 101.3      | 22,092,104    | 0.5   |
| 間接人件費         | 7,818,316     | 0.2   | 539,732      | 107.4      | 7,278,584     | 0.2   |
| 動力費           | 18,529,124    | 0.4   | △ 5,253,762  | 77.9       | 23,782,886    | 0.5   |
| 薬品費           | 8,748,000     | 0.2   | △ 4,224,000  | 67.4       | 12,972,000    | 0.3   |
| その他物件費        | 619,249,488   | 14.2  | △ 35,954,970 | 94.5       | 655,204,458   | 14.8  |
| 減価償却費         | 534,028,738   | 12.3  | △ 3,594,043  | 99.3       | 537,622,781   | 12.2  |
| 資産減耗費         | 0             | 0.0   | △ 8,322,672  | 皆減         | 8,322,672     | 0.2   |
| 支払利息及び企業債取扱諸費 | 42,880,861    | 1.0   | △ 5,614,475  | 88.4       | 48,495,336    | 1.1   |
| 合 計           | 4,352,226,014 | 100.0 | △ 69,542,603 | 98.4       | 4,421,768,617 | 100.0 |

## 資料別表 3

## 比較貸借対照表 (No. 1)

(資産の部)

(単位：円、%)

| 科 目      | 令和 5 年度        |       |                 |            | 令和 4 年度        |       |
|----------|----------------|-------|-----------------|------------|----------------|-------|
|          | 決 算 額          | 構成比   | 前年度増減           | 対前年<br>年度比 | 決 算 額          | 構成比   |
| 固定資産     | 59,658,778,715 | 98.4  | △ 1,646,023,226 | 97.3       | 61,304,801,941 | 99.0  |
| 有形固定資産   | 53,610,175,825 | 88.4  | △ 1,400,836,628 | 97.5       | 55,011,012,453 | 88.8  |
| 土地       | 1,701,672,669  | 2.8   | 495,872         | 100.0      | 1,701,176,797  | 2.7   |
| 建物       | 911,509,970    | 1.5   | △ 40,777,223    | 95.7       | 952,287,193    | 1.5   |
| 構築物      | 46,206,901,239 | 76.2  | △ 1,305,249,525 | 97.3       | 47,512,150,764 | 76.8  |
| 機械及び装置   | 4,506,267,440  | 7.4   | △ 198,140,804   | 95.8       | 4,704,408,244  | 7.6   |
| 車両運搬具    | 1,991,734      | 0.0   | △ 196,905       | 91.0       | 2,188,639      | 0.0   |
| 工具器具及び備品 | 8,220,201      | 0.0   | △ 2,563,680     | 76.2       | 10,783,881     | 0.0   |
| 建設仮勘定    | 273,612,572    | 0.5   | 145,595,637     | 213.7      | 128,016,935    | 0.2   |
| 無形固定資産   | 6,048,602,890  | 10.0  | △ 245,186,598   | 96.1       | 6,293,789,488  | 10.2  |
| 施設利用権    | 6,044,070,390  | 10.0  | △ 247,819,098   | 96.1       | 6,291,889,488  | 10.2  |
| ソフトウェア   | 4,532,500      | 0.0   | 2,632,500       | 238.6      | 1,900,000      | 0.0   |
| 流動資産     | 976,514,458    | 1.6   | 377,850,526     | 163.1      | 598,663,932    | 1.0   |
| 現金預金     | 692,154,370    | 1.1   | 390,293,281     | 229.3      | 301,861,089    | 0.5   |
| 未収金      | 279,322,978    | 0.5   | △ 4,776,415     | 98.3       | 284,099,393    | 0.5   |
| 未収金      | 334,678,866    | 0.6   | △ 5,243,380     | 98.5       | 339,922,246    | 0.6   |
| 貸倒引当金    | △ 55,355,888   | △ 0.1 | 466,965         | 99.2       | △ 55,822,853   | △ 0.1 |
| 受取手形     | 950,000        | 0.0   | 50,000          | 105.6      | 900,000        | 0.0   |
| 貯蔵品      | 3,987,110      | 0.0   | 283,660         | 107.7      | 3,703,450      | 0.0   |
| 前払金      | 0              | 0.0   | △ 8,000,000     | 皆減         | 8,000,000      | 0.0   |
| その他流動資産  | 100,000        | 0.0   | 0               | 100.0      | 100,000        | 0.0   |
| 資 産 合 計  | 60,635,293,173 | 100.0 | △ 1,268,172,700 | 98.0       | 61,903,465,873 | 100.0 |

## 資料別表 3

## 比較貸借対照表 (No. 2)

(負債・資本の部)

(単位：円、%)

| 科 目         | 令和5年度            |        |                 |       | 令和4年度            |        |
|-------------|------------------|--------|-----------------|-------|------------------|--------|
|             | 決 算 額            | 構成比    | 前年度増減           | 対前年度比 | 決 算 額            | 構成比    |
| 固定負債        | 16,984,694,464   | 28.0   | △ 2,306,204,071 | 88.0  | 19,290,898,535   | 31.2   |
| 企業債         | 16,966,292,633   | 28.0   | △ 2,307,533,261 | 88.0  | 19,273,825,894   | 31.2   |
| 引当金         | 18,401,831       | 0.0    | 1,329,190       | 107.8 | 17,072,641       | 0.0    |
| 退職給付引当金     | 18,401,831       | 0.0    | 1,329,190       | 107.8 | 17,072,641       | 0.0    |
| 流動負債        | 3,262,604,885    | 5.4    | 143,315,317     | 104.6 | 3,119,289,568    | 5.0    |
| 企業債         | 2,636,633,259    | 4.4    | △ 161,856,686   | 94.2  | 2,798,489,945    | 4.5    |
| 未払金         | 612,585,660      | 1.0    | 304,904,349     | 199.1 | 307,681,311      | 0.5    |
| 引当金         | 11,683,301       | 0.0    | 237,162         | 102.1 | 11,446,139       | 0.0    |
| 賞与引当金       | 11,683,301       | 0.0    | 237,162         | 102.1 | 11,446,139       | 0.0    |
| 預り金         | 1,702,665        | 0.0    | 30,492          | 101.8 | 1,672,173        | 0.0    |
| 繰延収益        | 21,892,545,628   | 36.1   | △ 660,725,132   | 97.1  | 22,553,270,760   | 36.4   |
| 長期前受金       | 46,910,632,745   | 77.4   | 240,279,550     | 100.5 | 46,670,353,195   | 75.4   |
| 収益化累計額      | △ 25,018,087,117 | △ 41.3 | △ 901,004,682   | 103.7 | △ 24,117,082,435 | △ 39.0 |
| 負債合計        | 42,139,844,977   | 69.5   | △ 2,823,613,886 | 93.7  | 44,963,458,863   | 72.6   |
| 資本金         | 16,817,867,323   | 27.7   | 1,377,406,629   | 108.9 | 15,440,460,694   | 25.0   |
| 自己資本金       | 16,817,867,323   | 27.7   | 1,377,406,629   | 108.9 | 15,440,460,694   | 25.0   |
| 剰余金         | 1,677,580,873    | 2.8    | 178,034,557     | 111.9 | 1,499,546,316    | 2.4    |
| 資本剰余金       | 918,618,685      | 1.5    | 495,872         | 100.1 | 918,122,813      | 1.5    |
| 受贈財産評価額     | 68,545,872       | 0.1    | 495,872         | 100.7 | 68,050,000       | 0.1    |
| 補助金         | 707,470,124      | 1.2    | 0               | 100.0 | 707,470,124      | 1.2    |
| 他会計負担金      | 142,602,689      | 0.2    | 0               | 100.0 | 142,602,689      | 0.2    |
| 利益剰余金       | 758,962,188      | 1.3    | 177,538,685     | 130.5 | 581,423,503      | 0.9    |
| 減債積立金       | 306,683,410      | 0.5    | 93,786,111      | 144.1 | 212,897,299      | 0.3    |
| 当年度未処分利益剰余金 | 452,278,778      | 0.8    | 83,752,574      | 122.7 | 368,526,204      | 0.6    |
| 資本合計        | 18,495,448,196   | 30.5   | 1,555,441,186   | 109.2 | 16,940,007,010   | 27.4   |
| 負債・資本合計     | 60,635,293,173   | 100.0  | △ 1,268,172,700 | 98.0  | 61,903,465,873   | 100.0  |

## 資料別表 4

## 財務諸表分析表 (No. 1)

| 分析項目 |             | R5         | R4         | R3         | 参考値<br>(全国平均) | 算式  |
|------|-------------|------------|------------|------------|---------------|---|
| 構成比率 | 固定資産構成比率    | %<br>98.4  | %<br>99.0  | %<br>99.3  | %<br>96.9     | $\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}} \times 100$<br>総資産 = 固定資産 + 流動資産  |
|      | 固定負債構成比率    | %<br>28.0  | %<br>31.2  | %<br>34.3  | %<br>30.1     | $\frac{\text{固定負債}}{\text{負債・資本合計}} \times 100$   |
|      | 自己資本構成比率    | %<br>66.6  | %<br>63.8  | %<br>60.9  | %<br>65.7     | $\frac{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{繰延収益}}{\text{負債・資本合計}} \times 100$                        |
| 財務比率 | 固定資産対長期資本比率 | %<br>104.0 | %<br>104.3 | %<br>104.3 | %<br>101.2    | $\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{固定負債} + \text{繰延収益}} \times 100$             |
|      | 流動比率        | %<br>29.9  | %<br>19.2  | %<br>14.8  | %<br>73.5     | $\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$  |
| 回転率  | 固定資産回転率     | 回<br>0.03  | 回<br>0.03  | 回<br>0.03  | 回<br>0.04     | $\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首固定資産} + \text{期末固定資産}) \div 2}$                                    |
|      | 減価償却率       | %<br>3.9   | %<br>3.8   | %<br>3.7   | %<br>3.9      | $\frac{\text{当年度減価償却額}}{\text{有形固定資産} + \text{無形固定資産} - \text{土地} - \text{建設仮勘定} + \text{当年度減価償却額}} \times 100$ |
|      | 流動資産回転率     | 回<br>2.1   | 回<br>3.2   | 回<br>3.3   | 回<br>1.2      | $\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首流動資産} + \text{期末流動資産}) \div 2}$                                    |
|      | 未収金回転率      | 回<br>4.9   | 回<br>5.0   | 回<br>4.3   | 回<br>5.8      | $\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首未収金} + \text{期末未収金}) \div 2}$                                      |

※「参考値」欄は、総務省において公表している「地方公営企業年鑑」から引用し、令和4年度の数値を記載している。

| 説 明  |
|--|
| <p>総資産に対する固定資産の構成比率であり、比率が高ければ資本の固定化の傾向にある。低い方が、機動的な経営が可能である。</p>  |
| <p>資産の調達源である負債・資本の内、他人資本の割合を示すものであり、比率が低いほど良い。</p>   |
| <p>資本総額とこれを構成する自己資本の関係を示すもので、経営の健全化のためには、比率を高める必要がある。</p>  |
| <p>固定資産の調達が自己資本と固定負債の範囲内で行われるべきであるとの立場から、少なくとも100%以内が望ましく、100%を超えた場合は明らかに固定資産に対する過大投資が行われたものと言わざるを得ない。比率が低い方が良い。</p> |
| <p>1年以内に現金化できる資産と支払わなければならない負債（短期債務）とを比較するもので、流動性を確保するためには、流動資産が流動負債の2倍以上あることが要求されるので、安全比率は200%以上である。</p>            |
| <p>営業収益と、設備投資された資本との関係を示すものであり、比率が高い方が固定資産が活用されていることを示す。</p>   |
| <p>減価償却費を固定資産の帳簿価格と比較することによって、固定資産に投下された資本の回収状況をみるためのものである。</p>  |
| <p>現金預金、未収金、貯蔵品等回転率を包括するものであり、これらの回転率が高くなれば、それに応じて高くなるものである。</p>   |
| <p>企業の取引量である営業収益と未収金との関係で、比率が高いほど未収金が未回収のまま残留する期間が短いことを示す。</p>   |

財務諸表分析表 (No.2)

| 分析項目        |                 | R5         | R4         | R3         | 参考値<br>(全国平均) | 算式  |
|-------------|-----------------|------------|------------|------------|---------------|---|
| 収<br>益<br>率 | 総資本利益率          | %<br>0.3   | %<br>0.3   | %<br>0.2   | %<br>—        | $\frac{\text{当年度純利益}}{(\text{期首総資本} + \text{期末総資本}) \div 2} \times 100$                                       |
|             | 総収支比率           | %<br>104.1 | %<br>104.7 | %<br>103.4 | %<br>105.1    | $\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$  |
|             | 営業収支比率          | %<br>42.1  | %<br>42.8  | %<br>43.4  | %<br>65.0     | $\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{営業費用} - \text{受託工事費}} \times 100$                                   |
| そ<br>の<br>他 | 利子負担率           | %<br>1.9   | %<br>1.9   | %<br>2.0   | %<br>1.3      | $\frac{\text{支払利息} + \text{企業債取扱諸費}}{\text{企業債} \cdot \text{長期借入金} + \text{一時借入金} + \text{リース債務}} \times 100$ |
|             | 企業債元金償還額対減価償却額比 | %<br>120.8 | %<br>124.4 | %<br>123.3 | %<br>137.2    | $\frac{\text{建設改良のための企業債元金償還額}}{\text{当年度減価償却額}} \times 100$  |

※「参考値」欄は、総務省において公表している「地方公営企業年鑑」から引用し、令和4年度の数値を記載している。

説 明

企業に投下された資本の総額と、それによってもたらされた利益とを比較したものであり、高い方が望ましい。

総収益と総費用を対比したものであり、収益と費用の総体的な関連を示すものである。

業務活動によってもたらされた営業収益とそれに要した営業費用を対比して業務活動の能率を示すものであり、これによって経営活動の成否が判断されるものである。

損益計算書が示す借入資本利子を貸借対照表に示された負債と比較することにより、利子率を計算したものである。

企業債償還額とその主要償還財源である減価償却費を比較したものである。



# 国民宿舎事業会計



## たつの市国民宿舎事業会計

### 1 業務実績について（資料別表1参照）

平成27年4月から国民宿舎赤とんぼ荘及び志んぐ荘は、2荘一体経営で指定管理者による管理運営を行ってきたが、赤とんぼ荘は、令和2年度末で宿泊及び休憩業務を休止し、令和3年度から市の直営で喫茶運営を行っている。

令和5年度の利用人員は、志んぐ荘は、宿泊者 26,251人、休憩者 17,090人で、合計 43,341人となっており、営業日数に対する1日平均利用人員は、119人である。赤とんぼ荘は、喫茶利用者が 10,969人で、営業日数に対する1日平均利用人員は 43人である。

前年度と比較すると、志んぐ荘は宿泊者が 827人（3.1%）減少し、休憩者が 4,675人（37.7%）増加し、合計は 3,848人（9.7%）増加している。赤とんぼ荘の喫茶利用者は 1,810人（19.8%）増加しており、喫茶を含む利用人員の2荘合計では、前年度に比べ 5,658人（11.6%）増加している。

### 2 予算及び決算について

#### (1) 収益的収入及び支出について

収益的収支に係る予算の執行状況は、第1表のとおりである。

第1表 予算決算対照表（収益的収支）

(収入)

(単位：千円、%)

| 科 目      | 予 算 額   | 決 算 額   | 予算額に比べ<br>決算額の増減 | 収入率   | 決算構<br>成比率 |
|----------|---------|---------|------------------|-------|------------|
| 国民宿舎事業収益 | 103,912 | 104,399 | 487              | 100.5 | 100.0      |
| 営業収益     | 4,680   | 6,502   | 1,822            | 138.9 | 6.2        |
| 営業外収益    | 99,232  | 97,897  | △ 1,335          | 98.7  | 93.8       |
| 特別収益     | 0       | 0       | 0                | —     | —          |

(支出)

(単位：千円、%)

| 科 目      | 予 算 額   | 決 算 額   | 不 用 額 | 執行率  | 決算構<br>成比率 |
|----------|---------|---------|-------|------|------------|
| 国民宿舎事業費用 | 175,735 | 173,077 | 2,658 | 98.5 | 100.0      |
| 営業費用     | 175,735 | 173,077 | 2,658 | 98.5 | 100.0      |
| 営業外費用    | 0       | 0       | 0     | —    | —          |
| 特別損失     | 0       | 0       | 0     | —    | —          |
| 予備費      | 0       | 0       | 0     | —    | —          |

収益的収入は、予算額 103,912千円に対して、決算額は 104,399千円で、予算額に対する収入率は 100.5%となっている。

収益的支出は、予算額 175,735千円に対して、決算額は 173,077千円で、執行率は 98.5%となり、2,658千円の不用額が生じている。

(2) 資本的収入及び支出について

資本的収入及び支出については、営業設備購入や改良工事等は行っておらず、当年度は生じていない。

第2表 予算決算対照表（資本的収支）

(収入)

(単位：千円、%)

| 科 目      | 予 算 額 | 決 算 額 | 予 算 額 に 比 べ<br>決 算 額 の 増 減 | 収 入 率 | 決 算 構<br>成 比 率 |
|----------|-------|-------|----------------------------|-------|----------------|
| 資本的収入    | 0     | 0     | 0                          | —     | —              |
| 固定資産売却代金 | 0     | 0     | 0                          | —     | —              |
| 補助金      | 0     | 0     | 0                          | —     | —              |

(支出)

(単位：千円、%)

| 科 目    | 予 算 額 | 決 算 額 | 翌 年 度<br>繰 越 額 | 不 用 額 | 執 行 率 | 決 算 構<br>成 比 率 |
|--------|-------|-------|----------------|-------|-------|----------------|
| 資本的支出  | 0     | 0     | 0              | 0     | —     | —              |
| 建設改良費  | 0     | 0     | 0              | 0     | —     | —              |
| 企業債償還金 | 0     | 0     | 0              | 0     | —     | —              |

3 経営成績について（資料別表2・3参照）

収益合計は 104,399千円で、前年度に比べ 38,144千円（26.8%）の減少となり、費用合計は 173,077千円で、前年度に比べ 40,527千円（19.0%）の減少となっている。

したがって、当年度純損失は 68,678千円となり、前年度に比べ 2,383千円減少している。

なお、消費税及び地方消費税の会計処理は、平成29年度から、免税事業者のため税込方式となっている。

(1) 経営収支の推移について

経営収支の推移を見ると、第3表のとおりである。

第3表 経営収支の推移

(単位：千円、%)

| 年 度   | 総収益<br>(A) | 対前年<br>度 比 | 総費用<br>(B) | 対前年<br>度 比 | 損 益<br>(A)-(B) | 対前年<br>度 比 | 総収支<br>比 率 |
|-------|------------|------------|------------|------------|----------------|------------|------------|
| 令和5年度 | 104,399    | 73.2       | 173,077    | 81.0       | △ 68,678       | 96.6       | 60.3       |
| 令和4年度 | 142,543    | 55.0       | 213,604    | 68.4       | △ 71,061       | 134.0      | 66.7       |
| 令和3年度 | 259,263    | 210.5      | 312,309    | 174.8      | △ 53,046       | 95.6       | 83.0       |

(総収支比率は、総収益÷総費用×100)

総収支比率の推移を見ると、前年度の 66.7%に対し、当年度は 60.3%となっており、6.4ポイント減少している。

(2) 収益について

当年度の収益について、前年度と比較すると、第4表のとおりである。

第4表 収益明細表

(単位：千円、%)

| 区 分       | 令和5年度   |       |          |            | 令和4年度   |
|-----------|---------|-------|----------|------------|---------|
|           | 決 算 額   | 構成比   | 増 減 額    | 対前年<br>度 比 | 決 算 額   |
| 営業収益      | 6,502   | 6.2   | 1,257    | 124.0      | 5,245   |
| 利用収益      | 6,478   | 6.2   | 1,246    | 123.8      | 5,232   |
| 売店収益      | 24      | 0.0   | 11       | 184.6      | 13      |
| 営業外収益     | 97,897  | 93.8  | △ 39,401 | 71.3       | 137,298 |
| 受取利息及び配当金 | 0       | 0.0   | 0        | —          | 0       |
| 他会計補助金    | 79,979  | 76.6  | △ 39,307 | 67.0       | 119,286 |
| 長期前受金戻入   | 17,895  | 17.2  | △ 87     | 99.5       | 17,982  |
| 雑収益       | 23      | 0.0   | △ 7      | 76.7       | 30      |
| 特別利益      | 0       | 0.0   | 0        | —          | 0       |
| 合 計       | 104,399 | 100.0 | △ 38,144 | 73.2       | 142,543 |

当年度の総収益は104,399千円で、内訳は、営業収益が6,502千円（構成比6.2%）、営業外収益が97,897千円（構成比93.8%）である。

前年度に比べ、営業収益が1,257千円の増収、営業外収益が39,401千円の減収で、全体で38,144千円の減収となっている。

(3) 費用について

当年度の費用について、前年度と比較すると、第5表のとおりである。

第5表 費用明細表

(単位：千円、%)

| 区 分           | 令和5年度   |       |          |            | 令和4年度   |
|---------------|---------|-------|----------|------------|---------|
|               | 決 算 額   | 構成比   | 増 減 額    | 対前年<br>度 比 | 決 算 額   |
| 営業費用          | 173,077 | 100.0 | △ 40,527 | 81.0       | 213,604 |
| 売上原価費         | 1,870   | 1.1   | 179      | 110.6      | 1,691   |
| 売上人件費         | 5,850   | 3.4   | 532      | 110.0      | 5,318   |
| 宿舍経営費         | 75,621  | 43.7  | △ 41,148 | 64.8       | 116,769 |
| 減価償却費         | 89,736  | 51.8  | △ 90     | 99.9       | 89,826  |
| 長期前払消費税償却     | 0       | 0.0   | 0        | —          | 0       |
| 資産減耗費         | 0       | 0.0   | 0        | —          | 0       |
| 営業外費用         | 0       | 0.0   | 0        | —          | 0       |
| 支払利息及び企業債取扱諸費 | 0       | 0.0   | 0        | —          | 0       |
| 雑支出           | 0       | 0.0   | 0        | —          | 0       |
| 繰延勘定償却        | 0       | 0.0   | 0        | —          | 0       |
| 特別損失          | 0       | 0.0   | 0        | —          | 0       |
| 合 計           | 173,077 | 100.0 | △ 40,527 | 81.0       | 213,604 |

当年度の総費用は 173,077千円で、前年度に比べ 40,527千円（19.0%）の減少となっている。

内訳は、営業費用が 173,077千円（構成比 100.0%）で、前年度に比べ 40,527千円（19.0%）減少している。この主な要因は、売上人件費が 532千円（10.0%）増加し、宿舍経営費が 41,148千円（35.2%）減少したためである。

(4) 利用者、純損失等の推移について

当年度の利用者、純損失等の推移を前年度と比較すると、第6表のとおりである。

第6表 利用者、純利益等の推移

| 区 分  | 令和5年度  | 令和4年度  | 比較増減    |
|--|--------|--------|---------|
| 延利用人員（人）   | 54,310 | 48,652 | 5,658   |
| 宿泊人員（人） ※志んぐ荘  | 26,251 | 27,078 | △ 827   |
| 休憩人員（人） ※志んぐ荘  | 17,090 | 12,415 | 4,675   |
| 喫茶利用人員（人） ※赤とんぼ荘   | 10,969 | 9,159  | 1,810   |
| 純損失（千円）  | 68,678 | 71,061 | △ 2,383 |
| 利用者1人当たりの純損失（円）  | 1,265  | 1,461  | △ 196   |
| 宿泊利用率（%） ※志んぐ荘<br>宿泊人員 / (宿泊定員 × 営業日数) × 100                     | 23.3   | 24.0   | △ 0.7   |
| 修正宿泊利用率（%） ※志んぐ荘<br>(休憩人員 × 1/4 + 宿泊人員) /<br>(宿泊定員 × 営業日数) × 100 | 27.1   | 26.8   | 0.3     |

※宿泊利用率及び修正宿泊利用率の算出に用いた志んぐ荘の営業日数は、令和5年度、令和4年度ともに365日で、宿泊定員は309人である。

前年度と比較すると、2荘合計の延利用人員は5,658人増加しており、内訳を見ると、志んぐ荘の宿泊人員が827人減少しており、休憩人員が4,675人、赤とんぼ荘の喫茶利用人員が1,810人増加している。

純損失は2,383千円減少し、利用者1人当たりの純損失は196円減少している。

4 財政状況について（資料別表4参照）

(1) 資産について

資産合計は1,803,060千円で、前年度に比べ86,586千円減少している。

構成比率では、固定資産が99.5%、流動資産が0.5%となっている。

ア 固定資産

固定資産は1,794,293千円で、前年度に比べ89,736千円減少している。

これは、有形固定資産の建物が79,668千円、構築物が1,100千円、機械及び装置が919千円、工具及び備品が8,049千円それぞれ減少したためである。

イ 流動資産

流動資産は 8,767千円で、前年度に比べ 3,149千円増加している。  
これは、現金預金が 3,177千円増加し、貯蔵品が 28千円減少したためである。

(2) 負債について

負債合計は 318,898千円で、前年度に比べ 17,908千円減少している。  
これは、流動負債が 14千円、繰延収益が 17,894千円減少したためである。

(3) 資本について

資本合計は 1,484,162千円で、前年度に比べ 68,678千円減少している。  
これは、剰余金が 68,678千円減少したためである。

ア 資本金

資本金は 2,559,843千円で、前年度と同額となっている。

イ 剰余金

剰余金は △1,075,682千円で、前年度に比べ 68,678千円減少している。  
これは、当年度未処理欠損金が 68,678千円増加したためであり、翌年度繰越欠損金として処理されている。

(4) キャッシュ・フローの状況について

当年度のキャッシュ・フローの状況は、第7表のとおりである。

第7表 キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| 区 分                | 令和5年度 |       | 令和4年度 |
|--------------------|-------|-------|-------|
|                    | 決 算 額 | 増 減 額 | 決 算 額 |
| 業務活動によるキャッシュ・フロー A | 3,178 | 2,452 | 726   |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー B | 0     | 0     | 0     |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー C | 0     | 0     | 0     |
| 資金増加(減少)額 D=A+B+C  | 3,178 | 2,452 | 726   |
| 資金期首残高 E           | 5,535 | —     | 4,809 |
| 資金期末残高 E+D         | 8,713 | —     | 5,535 |

業務活動によるキャッシュ・フローは 3,178千円のプラスで、前年度に比べ 2,452千円増加している。この結果、当年度の資金(現金・預金)期末残高は、期首残高に比べ 3,178千円増加し、8,713千円となっている。

## む す び

令和5年度国民宿舎事業会計の決算審査の内容は、以上のとおりである。

国民宿舎赤とんぼ荘・志んぐ荘の運営については、平成27年4月1日から、2荘一体で5年間、指定管理者による管理運営を行ってきた。志んぐ荘については、令和2年度から新たに5年間の指定管理がスタートしているが、赤とんぼ荘については、令和2年度末で宿泊・休憩業務を休止し、令和3年度から直営で喫茶運営を行いながら、今後の施設の在り方について検討を進めているところである。

令和5年度の2荘の経営実態は、年間延べ利用人員 54,310人で、前年度に比べ 5,658人の増加となった。志んぐ荘においては、宿泊者が 827人減少、休憩者が 4,675人増加した。

また、赤とんぼ荘の喫茶利用者は 10,969人で、前年度に比べ 1,810人増加した。

経営収支状況については、総収益が 104,399千円、総費用が 173,077千円で、純損失が 68,678千円となり、当年度未処理欠損金は 1,075,682千円となっている。

国民宿舎は、国民に低廉な宿泊・休憩施設を提供し、保健・休養の増進を図ることを目的として建設され、赤とんぼ荘が昭和37年4月に、志んぐ荘が昭和38年7月に開荘された。

当時は、宿泊・休憩・冠婚葬祭に利用できる施設が少なく、自治体直営の国民宿舎がその機能を担い、雇用や地域経済の伸展に寄与し、地域社会の発展に一定の役割を果たしてきたが、施設の老朽化と利用者数の減少が大きな課題となっている。

近年は特に、新型コロナウイルス感染症の影響により利用状況が低迷し、厳しい運営が続いていたが、感染防止と社会経済活動の両立を図る流れにより、コロナ禍前の利用状況に戻りつつある。

志んぐ荘の現在の指定管理期間は令和6年度末までであり、残り約半年となった。

引き続き指定管理者と十分な連携を取り、利便性の向上及び集客につながるアイデアの具体化に努められたい。

また、赤とんぼ荘については、喫茶運営を行いながら今後の施設の利活用について検討がなされているところであるが、いまだ方針決定には至っていない。

引き続き十分な協議を進め、市民の理解が得られるよう、当施設の方向性を検討されたい。



# 国民宿舎事業会計資料



資料別表 1

## 業 務 概 要

(単位:人、%)

| 区分             | 令和5年度  |        |        | 前年度増減 |         |       | 対前年度比 |       |       | 令和4年度  |        |       |       |
|----------------|--------|--------|--------|-------|---------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|-------|-------|
|                | 志んぐ荘   |        | 赤とんぼ荘  | 志んぐ荘  |         | 赤とんぼ荘 | 志んぐ荘  |       | 赤とんぼ荘 | 志んぐ荘   |        | 赤とんぼ荘 |       |
|                | 宿泊     | 休憩     | 喫茶     | 宿泊    | 休憩      | 喫茶    | 宿泊    | 休憩    | 喫茶    | 宿泊     | 休憩     | 喫茶    |       |
| 月別<br>利用<br>人員 | 4      | 1,885  | 825    | 974   | 627     | 109   | △ 225 | 149.8 | 115.2 | 81.2   | 1,258  | 716   | 1,199 |
|                | 5      | 1,661  | 1,012  | 851   | 510     | △ 425 | 110   | 144.3 | 70.4  | 114.8  | 1,151  | 1,437 | 741   |
|                | 6      | 1,370  | 915    | 781   | 477     | △ 523 | 185   | 153.4 | 63.6  | 131.0  | 893    | 1,438 | 596   |
|                | 7      | 2,836  | 844    | 966   | 520     | 91    | 311   | 122.5 | 112.1 | 147.5  | 2,316  | 753   | 655   |
|                | 8      | 3,928  | 903    | 838   | 400     | 171   | 300   | 111.3 | 123.4 | 155.8  | 3,528  | 732   | 538   |
|                | 9      | 2,155  | 854    | 959   | △ 218   | 136   | 350   | 90.8  | 118.9 | 157.5  | 2,373  | 718   | 609   |
|                | 10     | 1,758  | 1,240  | 939   | △ 186   | 373   | 146   | 90.4  | 143.0 | 118.4  | 1,944  | 867   | 793   |
|                | 11     | 1,793  | 1,741  | 921   | 157     | 272   | 69    | 109.6 | 118.5 | 108.1  | 1,636  | 1,469 | 852   |
|                | 12     | 1,753  | 2,211  | 834   | △ 1,230 | 1,158 | 98    | 58.8  | 210.0 | 113.3  | 2,983  | 1,053 | 736   |
|                | 1      | 1,420  | 2,551  | 868   | △ 1,249 | 1,213 | 185   | 53.2  | 190.7 | 127.1  | 2,669  | 1,338 | 683   |
|                | 2      | 2,234  | 2,113  | 991   | △ 360   | 1,170 | 259   | 86.1  | 224.1 | 135.4  | 2,594  | 943   | 732   |
|                | 3      | 3,458  | 1,881  | 1,047 | △ 275   | 930   | 22    | 92.6  | 197.8 | 102.1  | 3,733  | 951   | 1,025 |
| 合計             | 26,251 | 17,090 | 10,969 | △ 827 | 4,675   | 1,810 | 96.9  | 137.7 | 119.8 | 27,078 | 12,415 | 9,159 |       |
|                | 43,341 |        |        | 3,848 |         |       | 109.7 |       |       | 39,493 |        |       |       |
| 利用人員合計         | 54,310 |        |        | 5,658 |         |       | 111.6 |       |       | 48,652 |        |       |       |

|             | 令和5年度 | 令和4年度 |
|-------------|-------|-------|
| 宿泊利用人員(人/日) | 72    | 74    |
| 休憩利用人員(人/日) | 47    | 34    |
| 喫茶利用人員(人/日) | 43    | 36    |
| 1日平均利用人員    | 162   | 144   |

※営業日数については、令和5年度は、志んぐ荘が365日、赤とんぼ荘が256日である。令和4年度は志んぐ荘が365日、赤とんぼ荘が255日である。

※志んぐ荘の宿泊定員については、令和5年度、令和4年度ともに309人である。

## 資料別表 2

## 比較損益計算書

(単位：円、%)

| 科 目                | 令和5年度         |       |              |            | 令和4年度         |       |
|--------------------|---------------|-------|--------------|------------|---------------|-------|
|                    | 決 算 額         | 構成比   | 前年度増減        | 対前年<br>度 比 | 決 算 額         | 構成比   |
| 営業収益               | 6,501,950     | 6.2   | 1,257,650    | 124.0      | 5,244,300     | 3.7   |
| 利用収益               | 6,477,850     | 6.2   | 1,246,100    | 123.8      | 5,231,750     | 3.7   |
| 売店収益               | 24,100        | 0.0   | 11,550       | 192.0      | 12,550        | 0.0   |
| 営業外収益              | 97,896,579    | 93.8  | △ 39,401,586 | 71.3       | 137,298,165   | 96.3  |
| 受取利息及び配当金          | 168           | 0.0   | 4            | 102.4      | 164           | 0.0   |
| 他会計補助金             | 79,979,340    | 76.6  | △ 39,306,510 | 67.0       | 119,285,850   | 83.7  |
| 長期前受金戻入            | 17,894,571    | 17.2  | △ 87,580     | 99.5       | 17,982,151    | 12.6  |
| 雑収益                | 22,500        | 0.0   | △ 7,500      | 75.0       | 30,000        | 0.0   |
| 特別利益               | 0             | 0.0   | 0            | —          | 0             | 0.0   |
| 固定資産売却益            | 0             | 0.0   | 0            | —          | 0             | 0.0   |
| 過年度損益修正益           | 0             | 0.0   | 0            | —          | 0             | 0.0   |
| その他特別利益            | 0             | 0.0   | 0            | —          | 0             | 0.0   |
| 収 益 合 計            | 104,398,529   | 100.0 | △ 38,143,936 | 73.2       | 142,542,465   | 100.0 |
| 営業費用               | 173,076,562   | 100.0 | △ 40,527,194 | 81.0       | 213,603,756   | 100.0 |
| 売上原価費              | 1,870,200     | 1.1   | 179,217      | 110.6      | 1,690,983     | 0.8   |
| 売上人件費              | 5,850,325     | 3.4   | 532,646      | 110.0      | 5,317,679     | 2.5   |
| 宿舍経営費              | 75,620,386    | 43.7  | △ 41,148,321 | 64.8       | 116,768,707   | 54.7  |
| 減価償却費              | 89,735,651    | 51.8  | △ 90,736     | 99.9       | 89,826,387    | 42.0  |
| 長期前払消費税償却          | 0             | 0.0   | 0            | —          | 0             | 0.0   |
| 資産減耗費              | 0             | 0.0   | 0            | —          | 0             | 0.0   |
| 営業外費用              | 0             | 0.0   | 0            | —          | 0             | 0.0   |
| 支払利息及び企業債取扱諸費      | 0             | 0.0   | 0            | —          | 0             | 0.0   |
| 雑支出                | 0             | 0.0   | 0            | —          | 0             | 0.0   |
| 特別損失               | 0             | 0.0   | 0            | —          | 0             | 0.0   |
| 固定資産売却損            | 0             | 0.0   | 0            | —          | 0             | 0.0   |
| 過年度損益修正損           | 0             | 0.0   | 0            | —          | 0             | 0.0   |
| その他特別損失            | 0             | 0.0   | 0            | —          | 0             | 0.0   |
| 費 用 合 計            | 173,076,562   | 100.0 | △ 40,527,194 | 81.0       | 213,603,756   | 100.0 |
| 当年度純利益             | —             | —     | —            | —          | —             | —     |
| 当年度純損失             | 68,678,033    | —     | △ 2,383,258  | —          | 71,061,291    | —     |
| 前年度繰越欠損金           | 1,007,003,659 | —     | 71,061,291   | —          | 935,942,368   | —     |
| その他未処分利益<br>剰余金変動額 | 0             | —     | 0            | —          | 0             | —     |
| 当年度未処理欠損金          | 1,075,681,692 | —     | 68,678,033   | —          | 1,007,003,659 | —     |

## 資料別表 3

## 費用の性質別一覧

(単位：円、%)

| 科 目       | 令和 5 年度     |       |              |            | 令和 4 年度     |       |
|-----------|-------------|-------|--------------|------------|-------------|-------|
|           | 決 算 額       | 構成比   | 前年度増減        | 対前年<br>度 比 | 決 算 額       | 構成比   |
| 人 件 費     | 5,850,325   | 3.4   | 532,646      | 110.0      | 5,317,679   | 2.5   |
| 材 料 費     | 1,870,200   | 1.1   | 179,217      | 110.6      | 1,690,983   | 0.8   |
| 一 般 管 理 費 | 75,620,386  | 43.7  | △ 41,148,321 | 64.8       | 116,768,707 | 54.7  |
| 減 価 償 却 費 | 89,735,651  | 51.8  | △ 90,736     | 99.9       | 89,826,387  | 42.0  |
| 資 産 減 耗 費 | 0           | 0.0   | 0            | —          | 0           | 0.0   |
| 支 払 利 息 等 | 0           | 0.0   | 0            | —          | 0           | 0.0   |
| そ の 他     | 0           | 0.0   | 0            | —          | 0           | 0.0   |
| 合 計       | 173,076,562 | 100.0 | △ 40,527,194 | 81.0       | 213,603,756 | 100.0 |

## 資料別表 4

## 比較貸借対照表 (No. 1)

(資産の部)

(単位：円、%)

| 科 目      | 令和5年度         |       |              |            | 令和4年度         |       |
|----------|---------------|-------|--------------|------------|---------------|-------|
|          | 決 算 額         | 構成比   | 前年度増減        | 対前年<br>度 比 | 決 算 額         | 構成比   |
| 固定資産     | 1,794,292,711 | 99.5  | △ 89,735,651 | 95.2       | 1,884,028,362 | 99.7  |
| 有形固定資産   | 1,794,263,511 | 99.5  | △ 89,735,651 | 95.2       | 1,883,999,162 | 99.7  |
| 土地       | 14,000,000    | 0.8   | 0            | 100.0      | 14,000,000    | 0.7   |
| 建物       | 1,693,407,355 | 93.9  | △ 79,667,979 | 95.5       | 1,773,075,334 | 93.8  |
| 構築物      | 23,305,198    | 1.3   | △ 1,100,290  | 95.5       | 24,405,488    | 1.3   |
| 機械及び装置   | 8,858,538     | 0.5   | △ 918,648    | 90.6       | 9,777,186     | 0.5   |
| 車両運搬具    | 1,375,781     | 0.1   | 0            | 100.0      | 1,375,781     | 0.1   |
| 工具器具及び備品 | 53,316,639    | 2.9   | △ 8,048,734  | 86.9       | 61,365,373    | 3.3   |
| リース資産    | 0             | 0.0   | 0            | —          | 0             | 0.0   |
| 無形固定資産   | 0             | 0.0   | 0            | —          | 0             | 0.0   |
| 電話加入権    | 0             | 0.0   | 0            | —          | 0             | 0.0   |
| 施設利用権    | 0             | 0.0   | 0            | —          | 0             | 0.0   |
| 投資その他の資産 | 29,200        | 0.0   | 0            | 100.0      | 29,200        | 0.0   |
| 投資有価証券   | 29,200        | 0.0   | 0            | 100.0      | 29,200        | 0.0   |
| 長期前払消費税  | 0             | 0.0   | 0            | —          | 0             | 0.0   |
| 流動資産     | 8,767,069     | 0.5   | 3,149,380    | 156.1      | 5,617,689     | 0.3   |
| 現金預金     | 8,712,579     | 0.5   | 3,177,579    | 157.4      | 5,535,000     | 0.3   |
| 未収金      | 0             | 0.0   | 0            | —          | 0             | 0.0   |
| 前払費用     | 0             | 0.0   | 0            | —          | 0             | 0.0   |
| 貯蔵品      | 54,490        | 0.0   | △ 28,199     | 65.9       | 82,689        | 0.0   |
| 貸倒引当金    | 0             | 0.0   | 0            | —          | 0             | 0.0   |
| 資 産 合 計  | 1,803,059,780 | 100.0 | △ 86,586,271 | 95.4       | 1,889,646,051 | 100.0 |

## 資料別表 4

## 比較貸借対照表 (No. 2)

(負債・資本の部)

(単位：円、%)

| 科 目           | 令和 5 年度         |        |              |            | 令和 4 年度         |        |
|---------------|-----------------|--------|--------------|------------|-----------------|--------|
|               | 決 算 額           | 構成比    | 前年度増減        | 対前年<br>度 比 | 決 算 額           | 構成比    |
| 固定負債          | 0               | 0.0    | 0            | —          | 0               | 0.0    |
| 企業債           | 0               | 0.0    | 0            | —          | 0               | 0.0    |
| リース債務         | 0               | 0.0    | 0            | —          | 0               | 0.0    |
| 引当金 (退職給付引当金) | 0               | 0.0    | 0            | —          | 0               | 0.0    |
| 流動負債          | 171,661         | 0.0    | △ 13,667     | 92.6       | 185,328         | 0.0    |
| 一時借入金         | 0               | 0.0    | 0            | —          | 0               | 0.0    |
| 企業債           | 0               | 0.0    | 0            | —          | 0               | 0.0    |
| リース債務         | 0               | 0.0    | 0            | —          | 0               | 0.0    |
| 未払金           | 151,365         | 0.0    | △ 19,178     | 88.8       | 170,543         | 0.0    |
| 前受金           | 0               | 0.0    | 0            | —          | 0               | 0.0    |
| 預り金           | 20,296          | 0.0    | 5,511        | 137.3      | 14,785          | 0.0    |
| 引当金 (賞与引当金)   | 0               | 0.0    | 0            | —          | 0               | 0.0    |
| 繰延収益          | 318,726,446     | 17.7   | △ 17,894,571 | 94.7       | 336,621,017     | 17.8   |
| 長期前受金         | 817,571,800     | 45.4   | 0            | 100.0      | 817,571,800     | 43.3   |
| 収益化累計額        | △ 498,845,354   | △ 27.7 | △ 17,894,571 | 103.7      | △ 480,950,783   | △ 25.5 |
| 負 債 合 計       | 318,898,107     | 17.7   | △ 17,908,238 | 94.7       | 336,806,345     | 17.8   |
| 資本金           | 2,559,843,354   | 142.0  | 0            | 100.0      | 2,559,843,354   | 135.5  |
| 自己資本金         | 2,559,843,354   | 142.0  | 0            | 100.0      | 2,559,843,354   | 135.5  |
| 剰余金           | △ 1,075,681,681 | △ 59.7 | △ 68,678,033 | 106.8      | △ 1,007,003,648 | △ 53.3 |
| 資本剰余金         | 11              | 0.0    | 0            | 100.0      | 11              | 0.0    |
| 補助金           | 0               | 0.0    | 0            | —          | 0               | 0.0    |
| 受贈財産評価額       | 11              | 0.0    | 0            | 100.0      | 11              | 0.0    |
| 利益剰余金         | △ 1,075,681,692 | △ 59.7 | △ 68,678,033 | 106.8      | △ 1,007,003,659 | △ 53.3 |
| 当年度未処理欠損金     | △ 1,075,681,692 | △ 59.7 | △ 68,678,033 | 106.8      | △ 1,007,003,659 | △ 53.3 |
| 資 本 合 計       | 1,484,161,673   | 82.3   | △ 68,678,033 | 95.6       | 1,552,839,706   | 82.2   |
| 負債・資本合計       | 1,803,059,780   | 100.0  | △ 86,586,271 | 95.4       | 1,889,646,051   | 100.0  |

## 資料別表 5

## 財務諸表分析表 (No. 1)

| 分析項目 |                 | R5           | R4           | R3           | 参考値<br>(全国平均) | 算式   |
|------|-----------------|--------------|--------------|--------------|---------------|--|
| 構成比率 | 固定資産<br>構成比率    | %<br>99.5    | %<br>99.7    | %<br>99.8    | %<br>84.1     | $\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}} \times 100$<br>総資産=固定資産+流動資産                                   |
|      | 固定負債<br>構成比率    | %<br>0.0     | %<br>0.0     | %<br>0.0     | %<br>14.5     | $\frac{\text{固定負債}}{\text{負債・資本合計}} \times 100$  |
|      | 自己資本<br>構成比率    | %<br>100.0   | %<br>100.0   | %<br>100.0   | %<br>82.2     | $\frac{\text{資本金+剰余金+評価差額等+繰延収益}}{\text{負債・資本合計}} \times 100$                                  |
| 財務比率 | 固定資産対<br>長期資本比率 | %<br>99.5    | %<br>99.7    | %<br>99.8    | %<br>87.0     | $\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金+剰余金+評価差額等+固定負債+繰延収益}} \times 100$                                |
|      | 流動比率            | %<br>5,107.2 | %<br>3,031.2 | %<br>1,914.5 | %<br>472.4    | $\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$   |
|      | 酸性試験比率          | %<br>5,075.5 | %<br>2,986.6 | %<br>1,876.9 | %<br>457.0    | $\frac{\text{現金預金+(未収金-貸倒引当金)}}{\text{流動負債}} \times 100$                                       |
| 回転率  | 固定資産<br>回転率     | 回<br>0.0     | 回<br>0.0     | 回<br>0.0     | 回<br>0.2      | $\frac{\text{営業収益-受託工事収益}}{(\text{期首固定資産}+\text{期末固定資産}) \div 2}$                              |
|      | 自己資本<br>回転率     | 回<br>0.0     | 回<br>0.0     | 回<br>0.0     | 回<br>0.2      | $\frac{\text{営業収益-受託工事収益}}{(\text{期首自己資本金}+\text{期末自己資本金}) \div 2}$<br>自己資本=資本金+剰余金+評価差額等+繰延収益 |
|      | 流動資産<br>回転率     | 回<br>0.9     | 回<br>1.0     | 回<br>1.3     | 回<br>1.3      | $\frac{\text{営業収益-受託工事収益}}{(\text{期首流動資産}+\text{期末流動資産}) \div 2}$                              |
|      | 未収金<br>回転率      | 回<br>-       | 回<br>-       | 回<br>-       | 回<br>17.7     | $\frac{\text{営業収益-受託工事収益}}{(\text{期首未収金}+\text{期末未収金}) \div 2}$                                |

※「参考値」欄は、総務省において公表している「地方公営企業年鑑」から引用し、令和4年度の数値を記載している。

| 説 | 明  |
|---|--|
|   | <p>総資産に対する固定資産の構成比率であり、比率が高ければ資本の固定化の傾向にある。低い方が、機動的な経営が可能である。</p>  |
|   | <p>資産の調達源である負債・資本の内、他人資本の割合を示すものであり、比率が低いほど良い。</p>   |
|   | <p>資本総額とこれを構成する自己資本の関係を示すもので、経営の健全化のためには、比率を高める必要がある。</p>  |
|   | <p>固定資産の調達が自己資本と固定負債の範囲内で行われるべきであるとの立場から、少なくとも100%以内が望ましく、100%を超えた場合は明らかに固定資産に対する過大投資が行われたものと言わざるを得ない。比率が低い方が良い。</p> |
|   | <p>1年以内に現金化できる資産と支払わなければならない負債（短期債務）とを比較するもので、流動性を確保するためには、流動資産が流動負債の2倍以上あることが要求されるので、安全比率は200%以上である。</p>            |
|   | <p>比率が高ければ高いほど良く、高いほど運転資金が豊富で支払能力があることを示す。100%以上であること。</p>   |
|   | <p>営業収益と、設備投資された資本との関係を示すものであり、比率が高い方が固定資産が活用されていることを示す。</p>   |
|   | <p>自己資本に対し営業利益が何倍になっているかの割合を示すものであり、比率が高いほど営業活動が活発なことを示す。</p>  |
|   | <p>現金預金、未収金、貯蔵品等回転率を包括するものであり、これらの回転率が高くなれば、それに応じて高くなるものである。</p>   |
|   | <p>企業の取引量である営業収益と未収金との関係で、比率が高いほど未収金が未回収のまま残留する期間が短いことを示す。</p>   |

財務諸表分析表 (No.2)

| 分析項目        |                  | R5        | R4        | R3        | 参考値<br>(全国平均) | 算式  |
|-------------|------------------|-----------|-----------|-----------|---------------|---|
| 収<br>益<br>率 | 総資本利益率           | %<br>0.0  | %<br>0.0  | %<br>0.0  | %<br>—        | $\frac{\text{当年度純利益}}{(\text{期首総資本} + \text{期末総資本}) \div 2} \times 100$   |
|             | 総収支比率            | %<br>60.3 | %<br>66.7 | %<br>83.0 | %<br>89.0     | $\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$  |
|             | 営業収支比率           | %<br>20.7 | %<br>16.6 | %<br>12.5 | %<br>79.3     | $\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{営業費用} - \text{受託工事費用}} \times 100$<br>※志んぐ荘は営業収益がないため、赤とんぼ荘喫茶関係分のみで算出 |
| そ<br>の<br>他 | 利子負担率            | %<br>—    | %<br>—    | %<br>—    | %<br>0.2      | $\frac{\text{支払利息} + \text{企業債取扱諸費}}{\text{企業債} \cdot \text{長期借入金} + \text{一時借入金} + \text{リース債務}} \times 100$   |
|             | 企業債元金償還額対減価償却額比率 | %<br>0.0  | %<br>0.0  | %<br>0.0  | %<br>18.7     | $\frac{\text{建設改良のための企業債元金償還額}}{\text{当年度減価償却額}} \times 100$  |

※「参考値」欄は、総務省において公表している「地方公営企業年鑑」から引用し、令和4年度の数値を記載している。

説 明

企業に投下された資本の総額と、それによってもたらされた利益とを比較したものであり、高い方が望ましい。

総収益と総費用を対比したものであり、収益と費用の総体的な関連を示すものである。

業務活動によってもたらされた営業収益とそれに要した営業費用を対比して業務活動の能率を示すものであり、これによって経営活動の成否が判断されるものである。

損益計算書が示す借入資本利子を貸借対照表に示された負債と比較することにより、利子率を計算したものであり、比率が低い方が良い。

企業債元金償還額とその償還財源である減価償却費との割合で、企業債償還能力を示す。この率が低いほど償還能力は高い。



